

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

<40週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 定点当たり報告数が例年に比べかなり多い / その他最新動向
<9月> 性感染症・薬剤耐性菌について



注目すべき感染症
P.5

<腸管出血性大腸菌感染症> 第40週の報告患者総数は68



病原体情報
P.6

患者から分離・検出された病原体報告 Vero毒素産生性大腸菌 / 手足口病 / ヘルパンギーナ / 無菌性髄膜炎 / 他



速報
P.7

日本のポリオ



海外感染症情報
P.8-9

南アフリカでのコレラ / ウガンダでのエボラ出血熱 / 他



感染症の話
P.10-13

マールブルグ病
1967年の最初の疾患発生の地名に由来して称され、エボラ出血熱と同様に自然界の宿主は不明である



読者のコーナー
P.14



グラフ総覧(40週)
P.15-21



グラフ総覧(9月)
P.22-26



9月のデータ
P.27-29



40週のデータ
P.30-37



発生動向総覧

40週コメント 10月13日集計分

全数報告の感染症

1類感染症: 報告なし

2類感染症: コレラ3例(推定感染地: インドネシア2例、フィリピン1例)

細菌性赤痢25例(推定感染地: 国内1例、韓国6例、中国4例、モロッコ3例、ベトナム3例、タイ2例、インド2例、イラン2例、インドネシア1例、不明1例) 韓国での感染例のうち5例はツアーに参加した1家族の事例。中国での感染例のうち3例は同一ツアーに参加していたため、残りのツアー参加者についても調査が進行中。

腸チフス1例(推定感染地: モロッコ・エジプトなど)

パラチフス1例(推定感染地: 香港・インドネシア・タイなど)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症68例

4類感染症: アメーバ赤痢5例、Q熱1例、ジアルジア症2例、ツツガムシ病1例、破傷風2例、レジオネラ症1例、

急性ウイルス性肝炎4例 B型4例__うち性行為感染1例

後天性免疫不全症候群7例(無症候性キャリア4例、AIDS1例、その他2例)

感染経路__不明1例、性行為感染6例うち異性間3例、同性間3例)

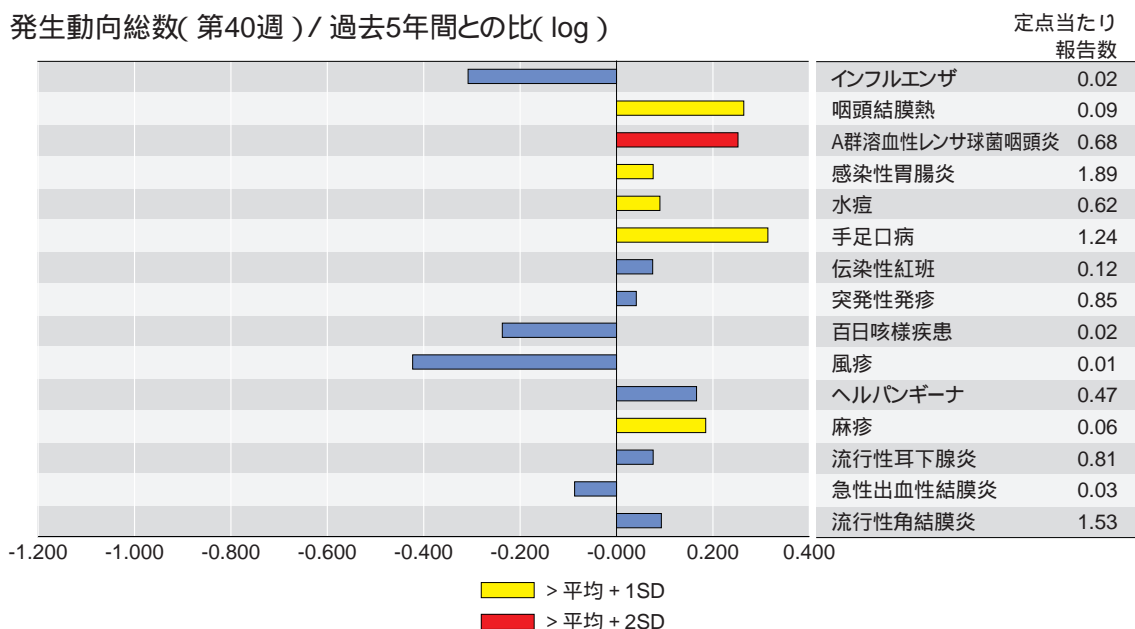
梅毒9例(早期顕性3例、晩期顕性1例、無症状5例、先天性梅毒0例)

マラリア2例(熱帯熱マラリア__推定感染地: ナイジェリア1例、インドネシア1例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が例年に比べかなり多い。また、手足口病、咽頭結膜熱など夏季の感染症の定点当たり報告数も例年よりやや多くなっている(手足口病、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の病原体については6ページ病原体情報参照)。

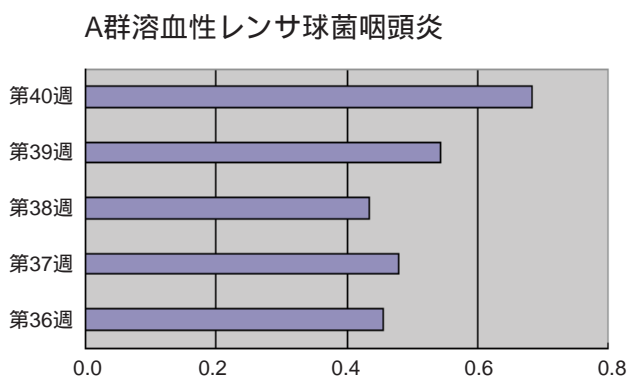
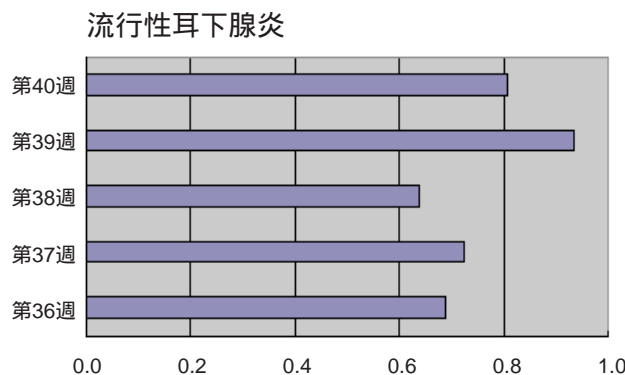
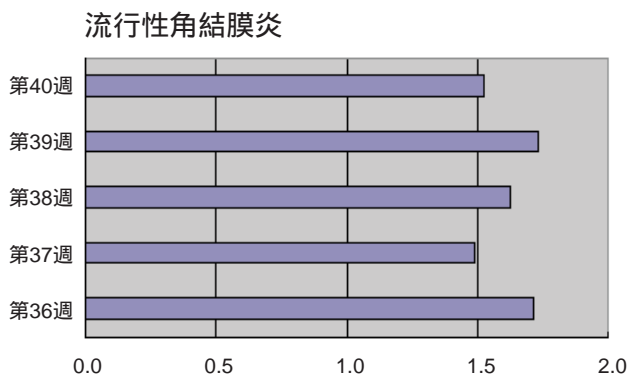
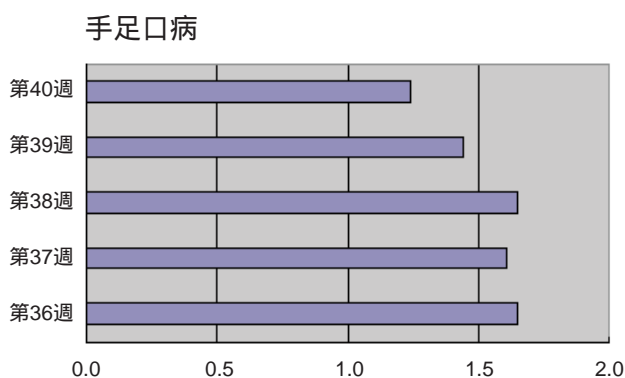
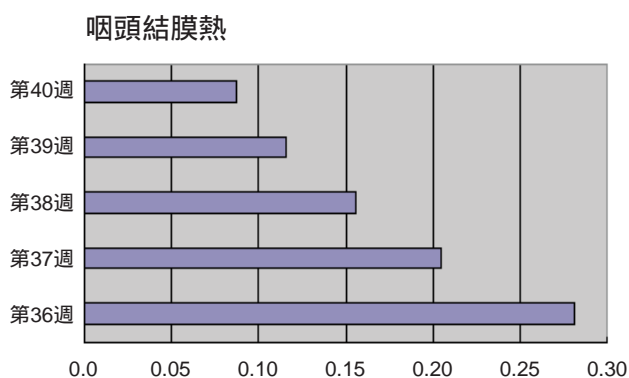
発生動向総数(第40週)/過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2週続けて定点当たり報告数が増加した。流行性耳下腺炎は前週より定点当たり報告数が減少した。咽頭結膜熱は定点当たり報告数が順調に減少している。手足口病は2週続けて定点当たり報告数が減少した。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はここ5週目立った増減はない。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

9月コメント 10月6日集計分

【注】)内の+、-、= は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

性感染症について

9月のSTD定点総数: 906 .

9月の定点当たり報告数: 性器クラミジア感染症 3.6(=) (男1.6、女2.0)

性器ヘルペスウイルス感染症 0.83(-) (男0.38、女0.45)

尖形コンジローム 0.42(-) (男0.24、女0.18)

淋菌感染症 1.7(-) (男1.4、女0.3)

年齢階級別: 20-24歳で最も多い・・・性器クラミジア感染症(総数、男性、女性)

性器ヘルペスウイルス感染症(女性)

尖形コンジローム(総数、男性、女性)

淋菌感染症(総数、女性)

25-29歳で最も多い・・・性器ヘルペスウイルス感染症(総数)

尖形コンジローム(男性)

淋菌感染症(男性)

30-34歳で最も多い・・・性器ヘルペスウイルス感染症(男性)

薬剤耐性菌について

9月の基幹定点総数: 453 .

9月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.4(-)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 0.52(-)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.12(+)

年齢階級別: MRSA感染症・・・・・・・ 報告数の48%は70歳以上の高齢者であり、0歳、1-4歳と60-69歳にも多い。

PRSP感染症・・・・・・・ 1-4歳が最も多く、全体の37%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症・・・高齢者に多く見られ、全体の47.2%が70歳以上であった。

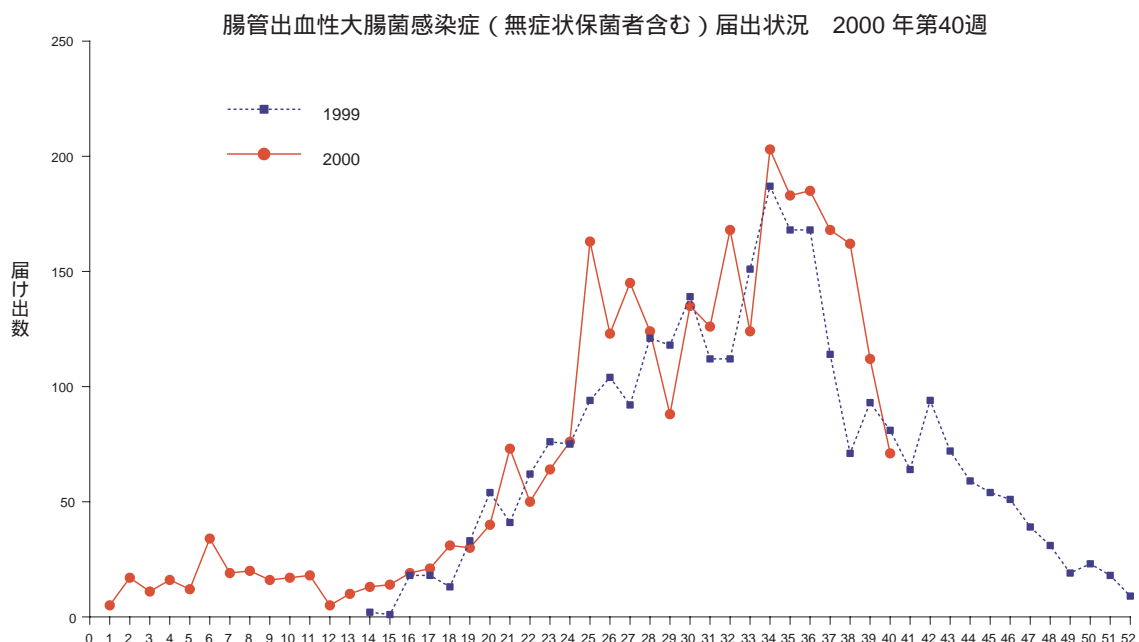
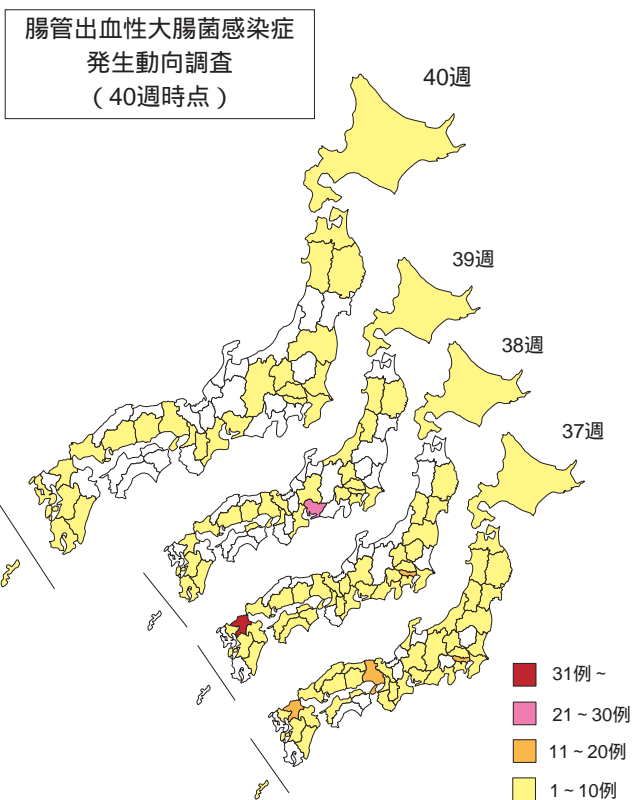


注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第40週(10月2日～10月8日)の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数(無症状病原体保有者含む)は68であった。

愛知県、広島県では先週報告された集団感染事例の一部が含まれている(Vero毒素産生性大腸菌O157、O26の検出状況については、6ページ病原体情報参照)。2000年第1週からの累積患者報告数は2,903となり、大阪府、東京都、神奈川県、愛知県、福岡県、兵庫県など大都市を含む都府県で累積報告数が多い。





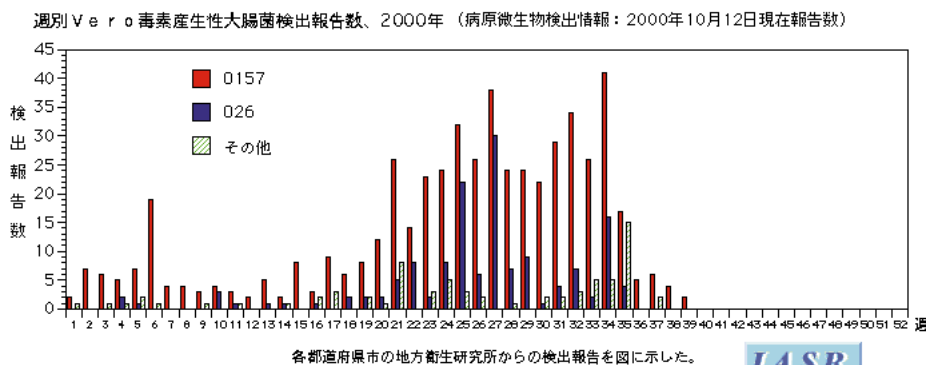
病原体情報

(2000年10月12日現在報告分)

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.gov/iasr/index-j.html>)からの引用です。

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26 2000年

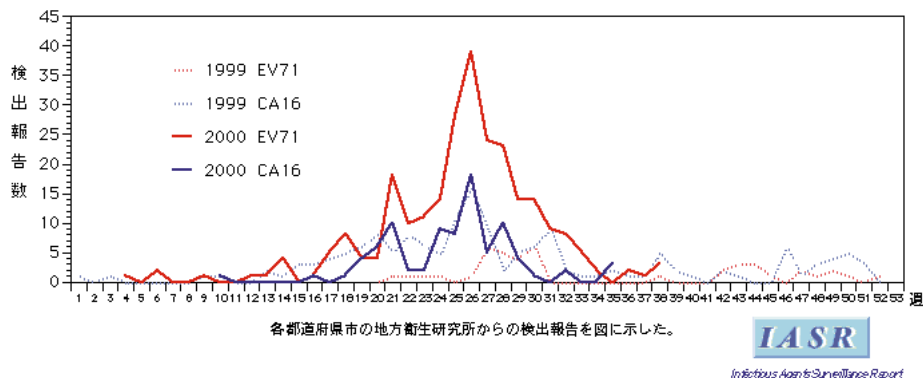
本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が536件、O26が147件である。第36週以降、O157は岐阜県7、山梨県4、尼崎市4、長崎市2の報告であり、O26の報告数は0である。



手足口病患者から分離されたウイルス 2000年

エンテロウイルス71型(EV71)の分離は198件報告され、熊本県(35)、愛媛県(33)、神奈川県(25)、愛知県(14)からの報告が多く、第36週以降では岩手県から6件の報告である。コクサッキーウイルスA16型(CA16)は85件の報告、CA10は19件の報告である。

週別エンテロウイルス71型、コクサッキーA16型分離報告数、年別比較(1999年、2000年)
(病原微生物検出情報: 2000年10月12日現在報告数)



ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス 2000年

A群コクサッキーウイルス(CA)155件(10型60、4型42、6型32、2型14、8型2、9型2、3型1、5型1、7型1)の分離が報告されている。

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2000年

エコーウイルス(E)148件(25型39、9型36、3型19、11型17、6型13、30型13、18型6、21型3、4型1、17型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)79件(3型23、5型21、4型16、1型14、2型3、6型2)、エンテロウイルス71型(EV71)40件、ムンプスウイルス29件、CA12件(9型6、10型5、4型1)の分離が報告されている。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2000年

アデノウイルス(Ad)101件(3型51、2型24、1型16、5型3、4型2、6型2、7型2、19型1)の分離が報告されている。

流行性角結膜炎から分離されたウイルス 2000年

アデノウイルス42件(3型9、4型8、8型7、37型7、11型4、19型3、1型1、2型1、6型1、7型1)の分離が報告されている。



日本のポリオ

わが国では1947年「伝染病届出規則」が制定され、ポリオ患者の実態が把握されるようになった。1960年のポリオの大流行は北海道に始まり全国規模のものとなり、戦後最大、最悪の感染症流行となった。1961年に輸入生ワクチンの緊急投与が行われ、1962、63年と全国の生後3カ月～12歳までの小児に一斉投与された。そして1964年以降は生後3カ月～48カ月の間に春、秋2回の定期接種が確立した。その結果、ポリオ患者は激減し、現在までに完全に制圧されている。

1988年からスタートしたWHOの世界ポリオ根絶計画は着々と進行している。この計画とは、まず急性弛緩性麻痺(Acute Flaccid Paralysis: AFP)の患者を見出し、そこからポリオウイルスを分離する。そして野生株が分離されなくなることをもって、世界レベルでポリオウイルスが野生株のウイルスからワクチンウイルスに置き換えられたこととする。このようなウイルスサーベイランスと強力なワクチン投与が、この計画の2本の柱である。計画の当初は、ポリオ患者をしらみつぶしに探し出し、そして臨床的に診断された患者の減少をもってポリオの根絶に立ち向かったものであった。しかし計画の後半からは、ウイルス学的な実験室診断が基本原則となった。

WHOに報告されているポリオ患者の発生は着々と減少し、いまやpolio-freeの国々が大半を占めるようになった。特に南北アメリカからは1991年以降、野生株によるポリオ患者は1人も発生していない。さらに我々の属する西太平洋地域は、1997年3月カンボジアの患者を最後として、それ以降野生株は分離されていない。2000年8月、マニラで第5回のポリオ根絶認定委員会が開かれ、各々の国での根絶委員会の報告を受け、検討がなされた。WHOが設定する地域の根絶の条件として、野生株が3年以上患者から分離されないこと以外にも、AFPがきちんと報告されウイルス検査がなされているか、適切な便が採取され検査されているか、ラボラトリーは適切に機能しているか等についても詳細に検討された。

わが国ではたしかに、1981年以降麻痺患者からは野生株ポリオウイルスは分離されていない。わが国ではWHO方式のAFPサーベイランスシステムを導入する以前に野生株の伝播は1960年後半に断ち切れ、ポリオは制圧されたと考えられている。しかし、今回の根絶認定の条件がわが国でも満たされていることを確認するため、1997年わが国でも根絶委員会が組織され、全国レベルのポリオ様疾患発生動向調査を確立させるとともに、ポリオとの鑑別を要する非ポリオ麻痺疾患の中に、本当にポリオが紛れ込んでいないことを確認する後方視的、前方視的調査を、全国6カ所において1997年～2000年3月まで行った(IASR Vol.19, No.5参照)。

わが国におけるAFP発症率も10万人につき1.0を超えている。わが国で真性ポリオを見逃していることはないと考えられ、西太平洋地域事務局では2000年10月京都において、地域レベルの根絶の宣言を行う予定である。地域レベルの根絶宣言が出ることは、世界レベルの真の根絶が達成されるまでの、あくまでも1ステップである。今後特にわが国では以下のことが重要と考えられる。

(1) わが国でのポリオ例はワクチン関連症例である。現在のワクチン関連麻痺(VAPP)発生の頻度は想定される範囲内にあるが、ポリオコントロールの最終段階になっても、このVAPP発生を許容できるかの検討を十分行う必要があると同時に、真のVAPP例をきちんと診断、対応することが必要である。

(2) わが国の周囲にはまだ野生株を有している国々がある。野生株の侵入に対しての検出と対策を十分たてておく必要がある。

(3) ポリオ野生株が残っているのは、わが国においては研究室である。WHOはこの野生株の保持リスト作成と管理を勧告している。わが国ではホームページ<http://www.nih.go.jp/niid/polio/>(*11月以降は<http://www.polio.go.jp>)を立ち上げ、登録を開始した。

国立感染症研究所ウイルス第二部 宮村達男

(IASR10月号より抜粋・一部改編、詳細はIASR Vol.21 No.10, 2000 P.3-5)

る) 熱のある人間に対して、早期の医学的な判断を下すこと、医療関係者に、病気の臨床所見や疑い患者の管理方法についての情報を提供することなどが行われている。感染、病気の重症化、死亡に対する危険要因を特定する研究は進んでいる。RiyadhとJizanにそれぞれ中央人獣ウイルス研究所の設立を含む、動物、ヒトそして媒介蚊のサーベイランスが全国中で積極的に進められている。国レベルで国内有蹄類、特にヒツジとヤギの調査が、動物の予防接種の範囲を決定するために進められている。追加調査として、流行の規模を評価し、獣医や屠殺業者などのハイリスクグループの感染率を明らかにし、そして院内感染の有無を明らかにすることも計画されている。

[MMWR編集者注 :]

リフトバレー熱は蚊が媒介する人畜共通のウイルス感染症であり、主に流産や若い動物に死をもたらす。家畜やヒトでの流行の拡大は定期的な激しい降雨と関連している。

ヒトへの感染では症状は顕著に現れないか、短期の自然消退する発熱疾患を生ずる。しかしながら、網膜炎、出血熱、脳炎のような合併症が起こることがある(それぞれ概ね15%、1%、1%)。感染は主として感染動物の体液との接触や蚊による吸血によって起こるが、ウイルス研究所の研究者も感染の危険がある。ヒトからヒトへの感染は報告されていない。サウジアラビアのMOHIは、リフトバレー熱が疑われる重症な患者にリバビリンの無作為抽出偽薬対照試験を行う可能性について検討している。ヒトではリフトバレー熱にリバビリンは処方されていないが、動物実験ではその効果が示されている。静脈注射のリバビリンはラッサ熱、腎症候性出血熱、クリミア・コンゴ出血熱を含む他の出血熱に対して有効であることが示されている。

今回のアラビア半島でのリフトバレー熱の流行はアフリカ以外で初めての例である。リフトバレー熱が1977年にエジプトに発生した時、それまでサハラ以南アフリカに局限していたが、新しい地域で発病し伝播する可能性が報告された。最初の患者から分離されたウイルスは、1997-1998年に東アフリカでの流行で分離されたリフトバレー熱ウイルスに類似したRNA配列を有していた。リフトバレー熱の地理的広がり大きさを評価するために、無症候性および軽症者の横断的な地域社会の調査と検査室検査での感染の確認が行われている。

ウガンダでのエボラ出血熱

WHO/CSR 2000年10月16日

南アフリカの国立ウイルス研究所の検査で、流行はエボラ出血熱であることが明らかになった。ウガンダでエボラ出血熱が報告されたのは初めてである。

2000年10月16日までに、35人の死亡者を含む71人の疑い患者(suspected)が報告された。最初の患者はGuluの町の地元の病院から報告され、今では部落で発生し始めている。

ウガンダの保健省は流行への対応を調整するために、ウイルス性出血熱の抑制に対する特別部隊を派遣した。この調査チームの派遣にはドイツ、アイルランド、イタリアそして日本が財政的な援助をしている。WHOはウガンダ保健省とこの特別部隊に以下の支援をしている。

- ・流行に対する国際的支援に協力
- ・バリアナーシングなどの、抑制対策の実施
- ・患者の発見、接触者の追跡と監視
- ・防御用具の提供



感染症の話

(注)今週の感染症の話は39号掲載記事を一部改編して掲載しました。-IDWR編集委員長-

マールブルグ病(Marburg Disease)

1967年8月西ドイツ(当時)のマールブルグ(Marburg)とフランクフルト、およびユーゴスラビアのベオグラードでポリオワクチン製造および実験用としてウガンダから輸入されたアフリカモドリザルの解剖を行ったり、腎や血液に接触した研究職員、および片づけを行った人など合わせて25名に突如熱性疾患が発生し、7名が死亡した。二次感染は患者に接触した医療関係者など6名に見られたが、死者は出なかった。この疾患は、最初の発生地になみマールブルグ病(Marburg disease)と称されるようになった。ウイルス性出血熱のひとつであり、別名モドリザル出血熱(vervet monkey hemorrhagic fever)とも呼ばれる。その後アフリカのケニア、ジンバブエ、ザイール(現コンゴ民主共和国)などで発生し、いずれも1～2名で死者も出ているが、エボラ出血熱のように一度に多数の感染者・死者を出した例はない。

表1. ウイルス性出血熱と出血を生ずるウイルス病

疾患名(登場年)	ウイルス(科)	自然宿主と感染経路	分布地域
ラッサ熱(1969)	ラッサ(アレナ)	マストミス ヒト ヒト;まれに院内感染	西アフリカ一帯
エボラ出血熱(1976)	エボラ(フィロ)	不明 ヒト ヒト;不十分な医療用具による看護、介護での感染	アフリカ中央部
マールブルグ病(1967)	マールブルグ(フィロ)	不明 ヒト ヒト/サル ヒト ヒト	アフリカ中東南部
クリミア・コンゴ出血熱(1945,1956)	コンゴ(ブニヤ)	哺乳動物 ダニ ヒト ヒト;しばしば院内感染	アフリカ全土、中近東、中央アジア、インド亜大陸、東欧、中国
南米出血熱	フニン、マチュボ、グアナリト、サヒア(アレナ)	アルゼンチン出血熱、ボリビア出血熱、ベネズエラ出血熱、ブラジル出血熱 野ネズミ ヒト	南米
黄熱	黄熱(フラビ)	蚊 ヒト	アフリカ、中南米
腎症候性出血熱	ハンタ(ブニヤ)	野ネズミ ヒト	アジア、欧州
ハンタウイルス肺症候群	ハンタ(ブニヤ)	野ネズミ ヒト	米国
リフトバレー熱	リフトバレー(ブニヤ)	蚊 ヒト	アフリカ全域、中近東
デング出血熱	デング(フラビ)	蚊 ヒト	東南アジア、インド、中南米

VHF: クラス4病原体、ヒトからヒトへの感染が見られる。 クラス4病原体、ヒト ヒト感染はまれ。 クラス3病原体(CDCでは、ハンタウイルス肺症候群についてはクラス4扱いとしている。)

疫学

マールブルグ病の発生にサルが関与したのは1967年の事例のみで、以後のアフリカでの発生ではサルとの接触は全く知られてはいない。エボラ出血熱同様自然界の宿主は不明であり、どのような経路で最初のヒトへ病原体が伝播するかについても謎のままである。

今までのエピソードはドイツ以外ではアフリカで4回ある。

①1975年ジンバブエ - 南アフリカ: 2月15日ジンバブエ(当時ローデシア)からヒッチハイクで南アフリカ入りした21歳の白人男性(オーストラリア人)は12日以来の筋肉痛、嘔吐、発熱等の症状でヨハネスブルグ総合病院を訪れた。直ちに入院し18日出血傾向で死亡した。DICと肝不全を伴っていた。翌日同行者の女性と患者を介護した看護婦が26日に発症したが、2名は回復した。

最初の死亡患者の種々の材料から電顕によりウイルス粒子、免疫蛍光法により特異抗体が検出された。この折にヒッチハイクした道沿いにヒト、動物、虫等の血液等を集めて検査がなされたが、陽性例(ウイルス分離、抗体)はなかった。また旅行者は途中サルとの接触はまったくなかった。しかし一定の距離はあったが、コウモリ、サル、野鳥等からのエアロゾル感染は否定できない状況にはあったという。

②1980年ケニア:1月8日ケニア西部の砂糖工場で働いていた56歳のフランス人技師が突如熱性疾患に陥った。頭痛、筋肉痛、倦怠感を主症状とし3日目から下痢、嘔吐が始まった。15日にナイロビの病院に移送されたが吐血を繰り返していた。黄疸が強く大量下血で虚脱状態にあり到着後6時間で死亡した。治療に当たった医師は9日後の24日に発症し、高熱、頭痛、背部痛、咽頭痛、下痢がみられた。このときの血清から米国CDCで抗体上昇が確認され、Vero細胞でウイルスが分離できた。電顕上粒子も確認された。最初の患者は発症2週間前に近くの大量のコウモリの生息するElgon洞窟に入っていることと、近くの森で動物や鳥に餌をやっているなどが感染の機会としてあげられるがはっきりした証拠はない。

③1987年ケニア:ケニアの西方の公園(フランス人が感染したと思われる周辺)を訪れた少年が、感染、発症し死亡した。2次感染はみられなかった。

④1999年コンゴ民主共和国:4月、コンゴ民主共和国のWarsa地区(ウガンダ国境近く)でウイルス性出血熱様症状の患者が発生し、23日に死亡した。患者検体(血液)は直ちに南アフリカのヨハネスブルグのウイルス研に送付され、マールブルグウイルスが確認された。他の4名の同様症状を示したという疑似例では陰性であった。同じころ近くのDurbaでもウイルス性出血熱様の集団発生があったといわれるが、ウイルス学的確認がなされてはいない。

図1 マールブルグ病の分布



病原体

マールブルグウイルスはエボラウイルスと同様にフィロウイルス科(Filoviridae)のメンバーである。抗原性は異なり交差しないが電顕上の形態は酷似している。エンベロープを持ち桿菌状で平均長径が790nmである。短径は80-90nmである。長径は時に1,500-2,300nmにも達する。粒子は非対称でひも状、ゼンマイ状等多形を示す。遺伝子は核酸として1本鎖RNAを有し、分子量は 4.6×10^6 Daである。ウイルスはVero細胞、BHK細胞などで細胞変性効果を示す。実験的にはアカゲザル、ミドリザル、モルモット、ハムスター、マウス等で100%感染を起こし致命的となる。自然界におけるこのウイルスの宿主は今もって不明であり、どのようにしてヒトにウイルスが伝播されるかも全くわかってはいない。ヒトからヒトへの感染は感染者や患者の血液、体液、分泌物、排泄物などの汚染物との濃厚接触による。手袋等の防護策で感染は防げるとされ、医療の場での空気感染による拡大はないとされる。

臨床症状

感染総数に対する発症者の比率はよくわからない。潜伏期間は3-10日である。一次感染の潜伏期間は3-7日(二次感染では-10日と長くなることもある)で、症状はエボラ出血熱に似ており、発症は突発的である。発熱、頭痛、筋肉痛、背部痛、皮膚粘膜発疹、咽頭痛が初期症状としてみられる。激しい嘔吐が繰り返され、1-2日して水様性下痢がみられる。診断上皮疹は重要で、発症後5-7日で躯幹、臀部、上肢外側等に境界明瞭な留針大の暗赤色丘疹が毛根周辺に現れる。重症化すると散在性に暗赤色紅斑が顔面、躯幹、四肢にみられる。

表2. ウイルス性出血熱の臨床症状、診断、治療

疾患	潜伏期間	症状	診断法	治療法
ラッサ熱	7~18日	発症は突発的、進行は徐々に高熱(39~41℃)、全身倦怠感 3~4日目に大関節痛、咽頭痛、咳、次いで心窩部痛、後胸部痛、嘔吐、下痢、腹部痛 重症化すると、顔面頸部浮腫、結膜・消化管出血、心嚢・胸膜炎	① 血液、尿からのウイルス分離 ② IFAやELISAによる抗体検出	リバビリン(日本では市販されていない)を発症直後に用いると有効 (死亡率:90% 10%に)ワクチンはない
エボラ出血熱	2~21日	発症は突発的 主症状はインフルエンザ様、発熱、頭痛(100%)、腹・胸部痛、咽頭痛(80%) 出血は死亡例の90%以上	① 血液などからウイルスを分離 ② 抗体上昇を確認する(IFA, ELISA)	対症療法のみ ワクチンはない
クリミア・コンゴ出血熱	2~9日	非特異症状、発症は突発的 発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛 重症化すると、全身の出血、血管虚脱 死亡例では消化管出血、肝・腎不全 感染者の発症率は約20%	① 発症1週間以内に血液からウイルスを分離 ② 抗体上昇を確認(IFA, CF)	対症療法のみ ワクチンはない
マールブルグ病	3~10日	発症は突発的 発熱、頭痛、筋肉痛、皮膚粘膜発疹、咽頭結膜炎 重症化すると下痢、鼻口腔・消化管出血	① 血液からウイルスを分離 ② 抗体上昇の確認	対症療法のみ ワクチンはない

IFA:免疫蛍光抗体法、 ELISA:固相酵素免疫検定法、 CF:補体結合反応

病原診断

血液等からウイルス分離する(最高度安全実験施設P4が必要)。迅速診断にはELISAや免疫蛍光法で抗体を検出する。あるいはPCR法等でウイルス遺伝子を検出する。対象検体は血液、咽頭ぬぐい液、胸水、体液、その他組織等である。発症2カ月して症状は軽快しても精液、眼前房水等からウイルスが分離された例がある。

治療・予防

感染予防ワクチンはない。また対症療法以外の特異的治療法もない。

発生動向調査

患者や検体に接触した医療関係者や家族については表3のような考え方で、一定期間監視が必要な場合は実施する。

表3

接触の意味

ウイルス性出血熱 (VHF) 患者との接触の際の対応

患者接触者: (このウイルスは空気感染は否定されている。)

通常の接触: ホテルで同宿、飛行機で同乗者はサーベイランスの必要はない。

リスクのある接触者: 患者と同居、介護、看護にあたった人、握手したり、患者を抱擁した人、患者検体を取り扱った人、等については患者の診断が確定した時点で監視下に置く。症状がないかぎり入院の必要はない。検温は1日2回実施する。38.3 以上の発熱、その他いかなる症状も詳細に記録し、最終接触後3週間は監視する。

ハイリスクの接触: 患者と粘膜の接触の会った人、即ちキス、性行為等、あるいは患者の分泌物、排泄物、血液、組織、体液等を扱う際に針刺しや傷口に直接接触れる等があった人については、VHFの診断がつきそうな時直ちに監視下に置く。接触者が38.3 以上の発熱を示したり、いかなるVHFの症状を示した時も直ちに収容しVHFの患者としての取り扱いをする。

感染症法の中でのマールブルグ病の取扱い

マールブルグ病は、1類感染症に定められており、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る必要がある。類似患者、患者、無症状病原体保有者のいずれであっても届け出は必要である。報告のための基準は、以下の通りとなっている(平成11年3月30日、厚生省結核感染症課長通知)。

当該疾患を疑う症状や所見があり、かつ、以下の方法によって病原体診断または血清学的診断がなされたもの。

(材料)血液、尿、咽頭スワブ等

- ・病原体の検出
例:ウイルスの分離など
- ・抗原の検出
例:ELISA法による特異抗原の検出など
- ・病原体の遺伝子の検出
例:PCR法など
- ・血清抗体の検出
例:免疫蛍光法、ELISA法など

当該疾患を疑う症状や所見はないが、病原体か抗原が検出されたもの

(病原体や抗原は検出されず、遺伝子や抗体のみが検出されたものを含まない)

疑似症の診断

臨床的特徴に合致し、以下の疾患の鑑別診断がなされたもの

(鑑別診断)他のウイルス性出血熱、チフス、赤痢、マラリア、デング熱、黄熱等

《備考》

当該疾患を疑う症状や所見はないが、病原体や抗原は検出されず、遺伝子や抗体のみが検出されたものについては、法による報告は要しないが、確認のため保健所に相談することが必要である。

学校保健法の中でのマールブルグ病の取扱い

マールブルグ病は学校において予防すべき伝染病第1種に定められており、治癒するまで出席停止となる。

(国立感染症研究所副所長 倉田 毅)



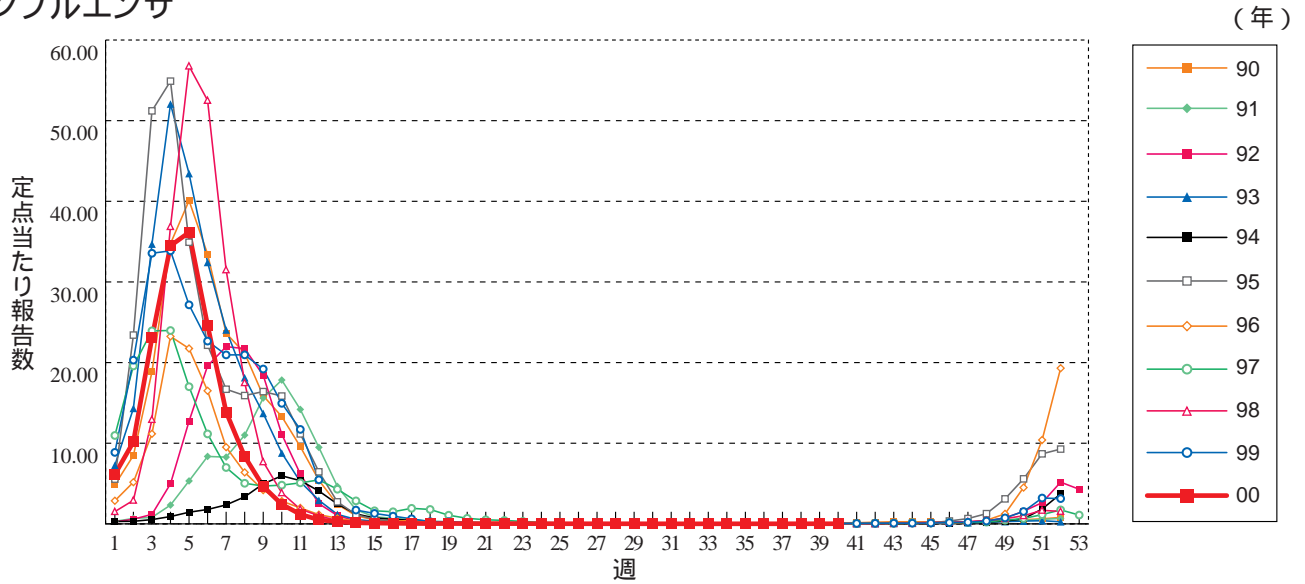
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

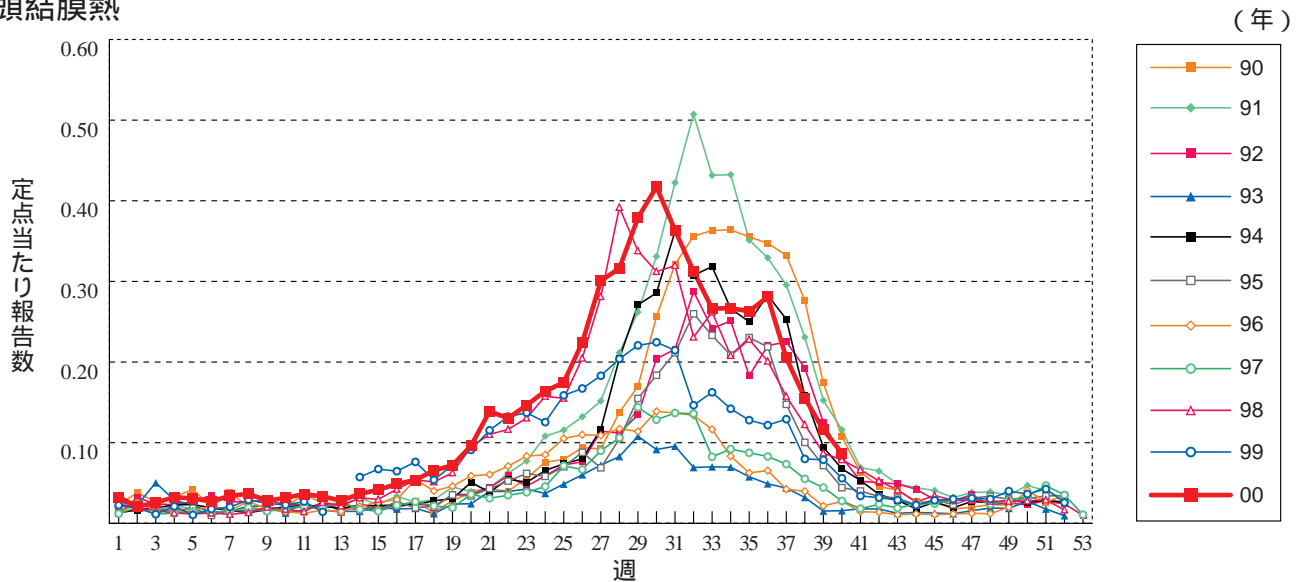
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(40週)

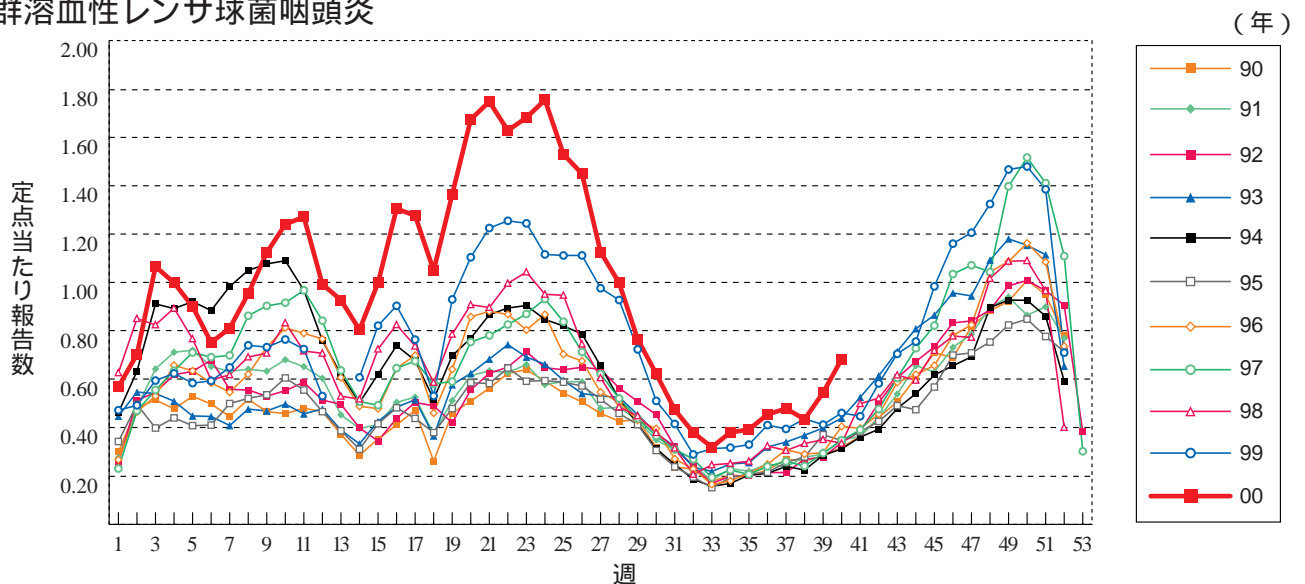
インフルエンザ



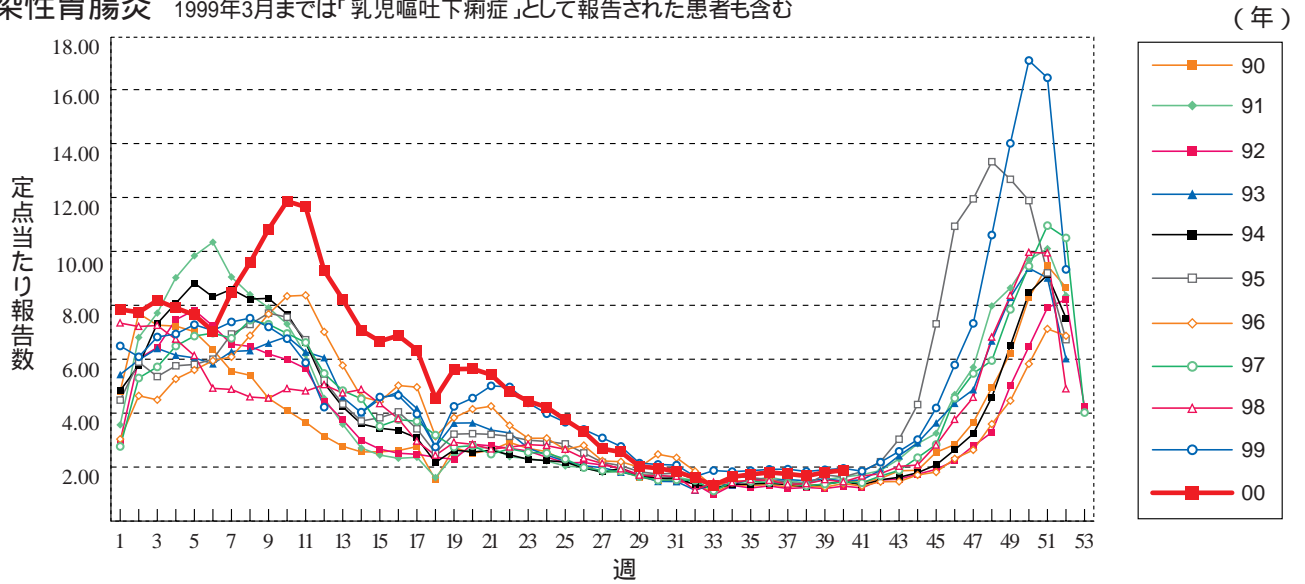
咽頭結膜熱



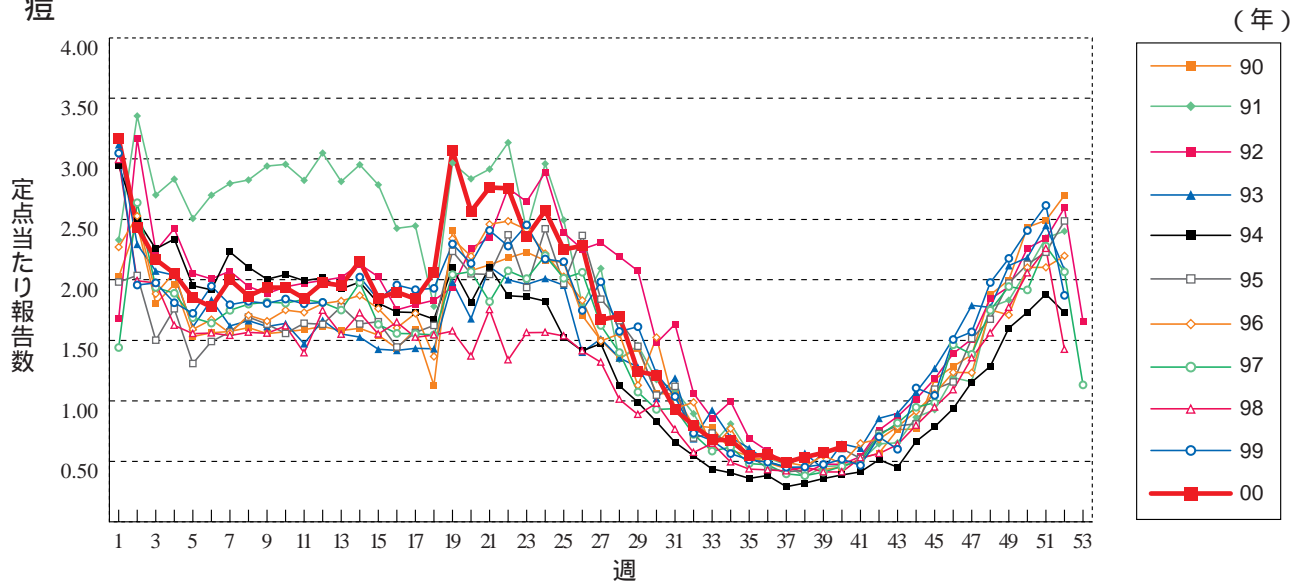
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



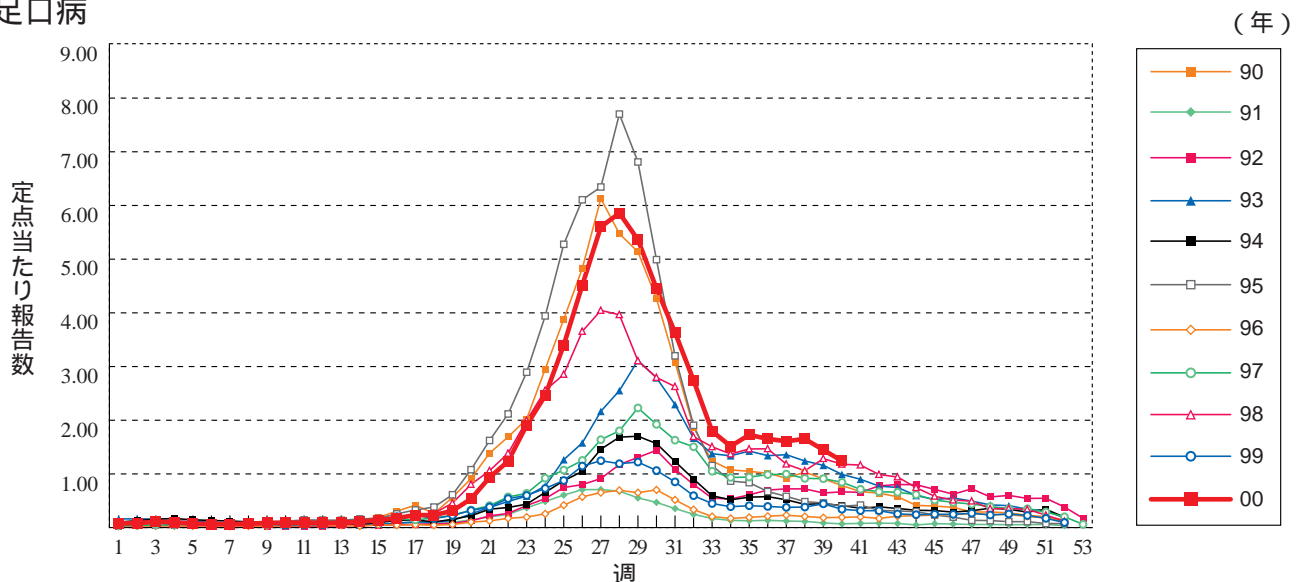
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



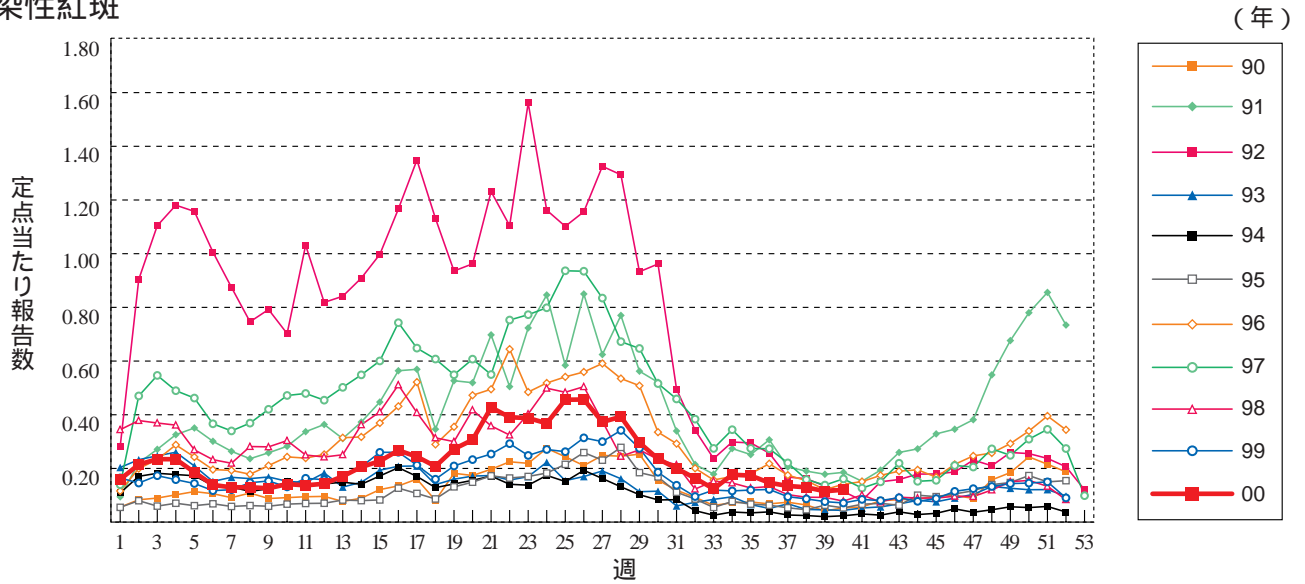
水痘



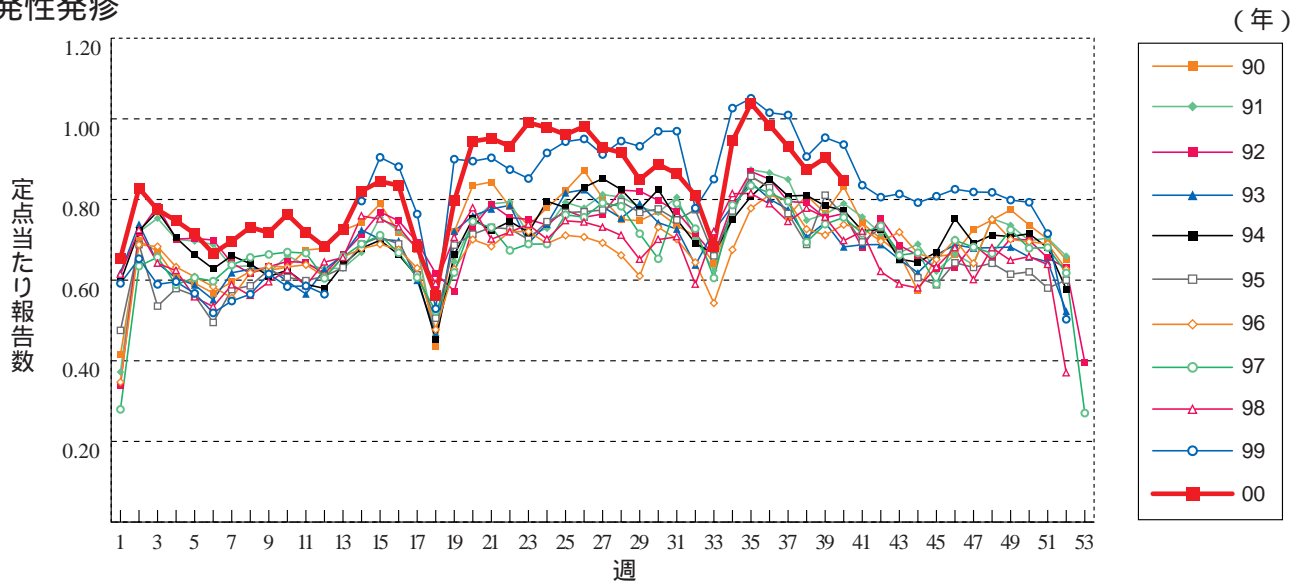
手足口病



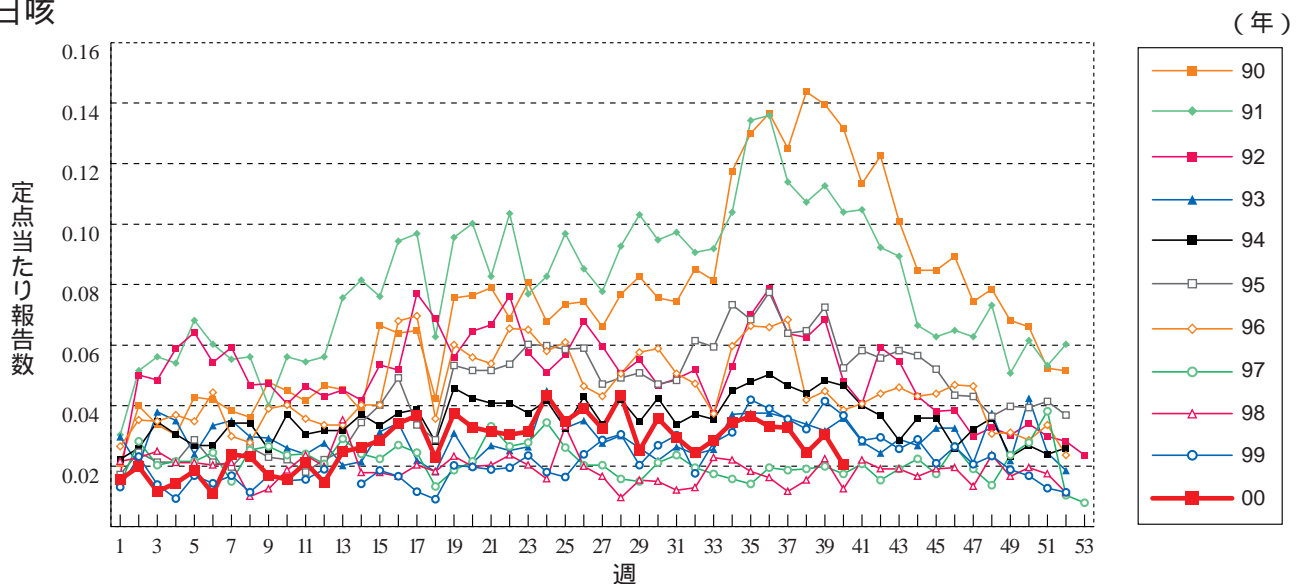
伝染性紅斑



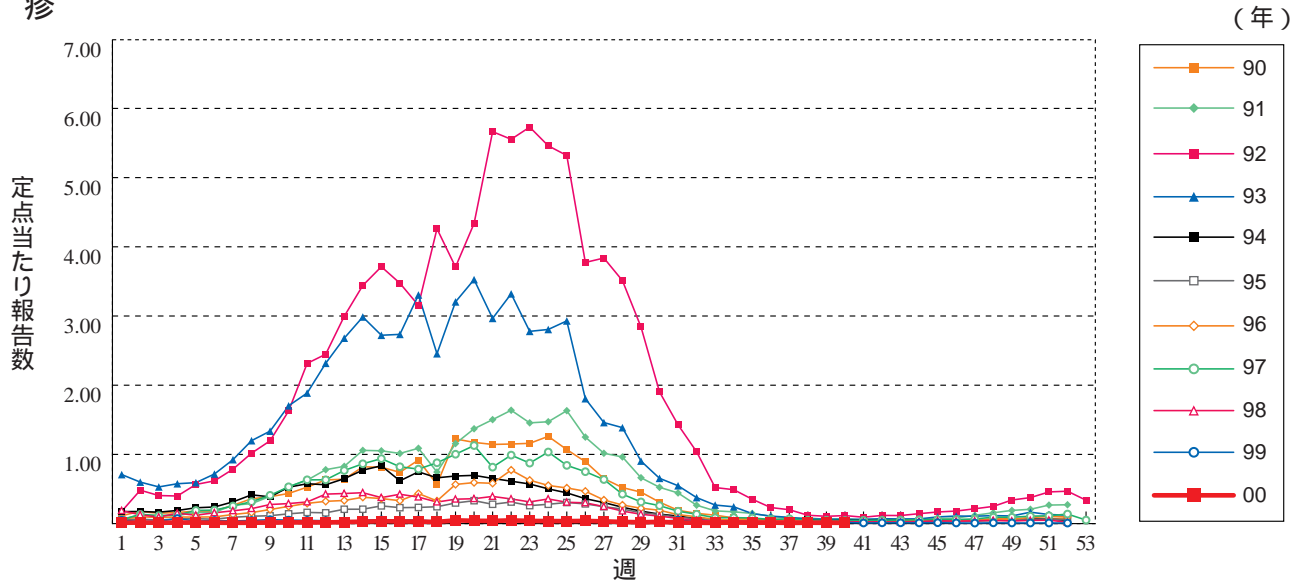
突発性発疹



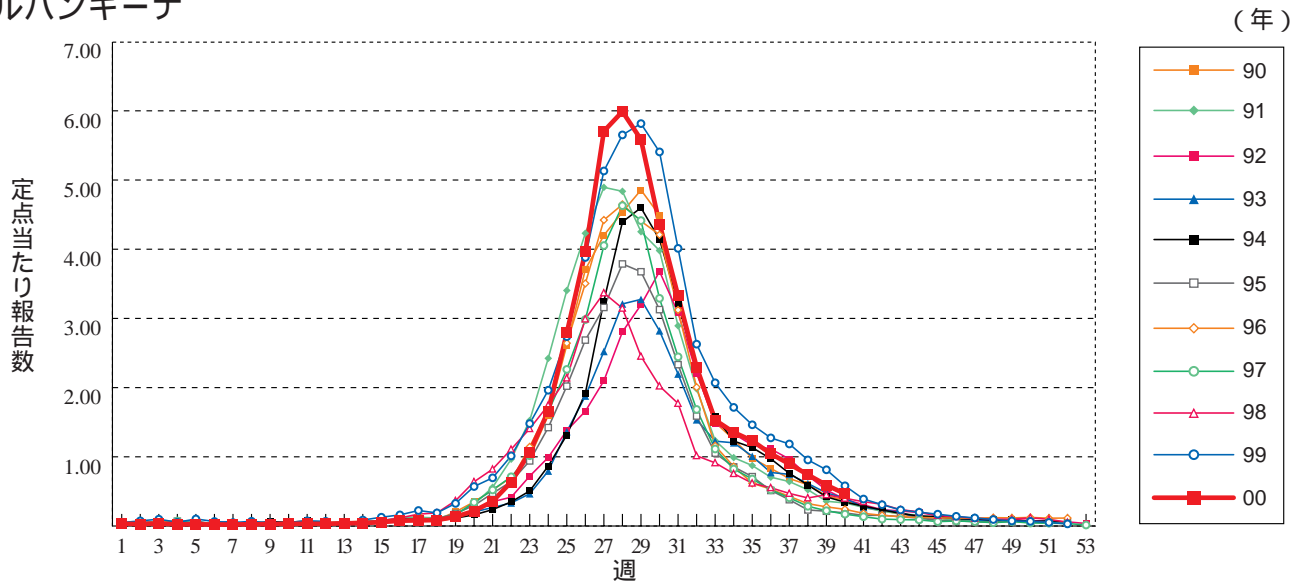
百日咳



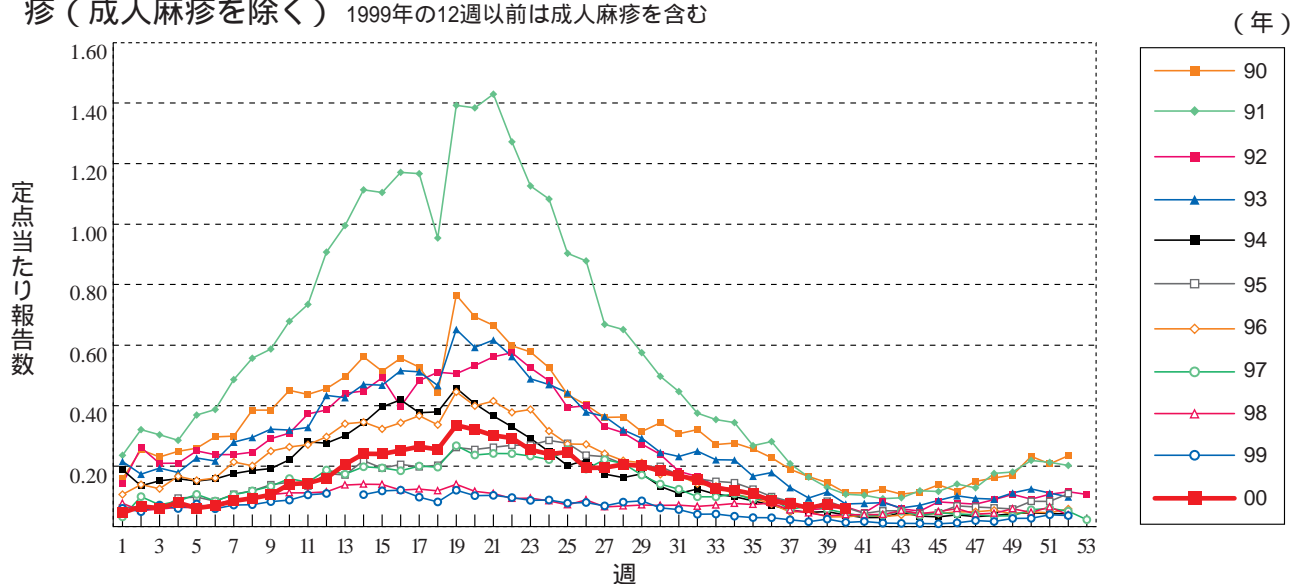
風 疹



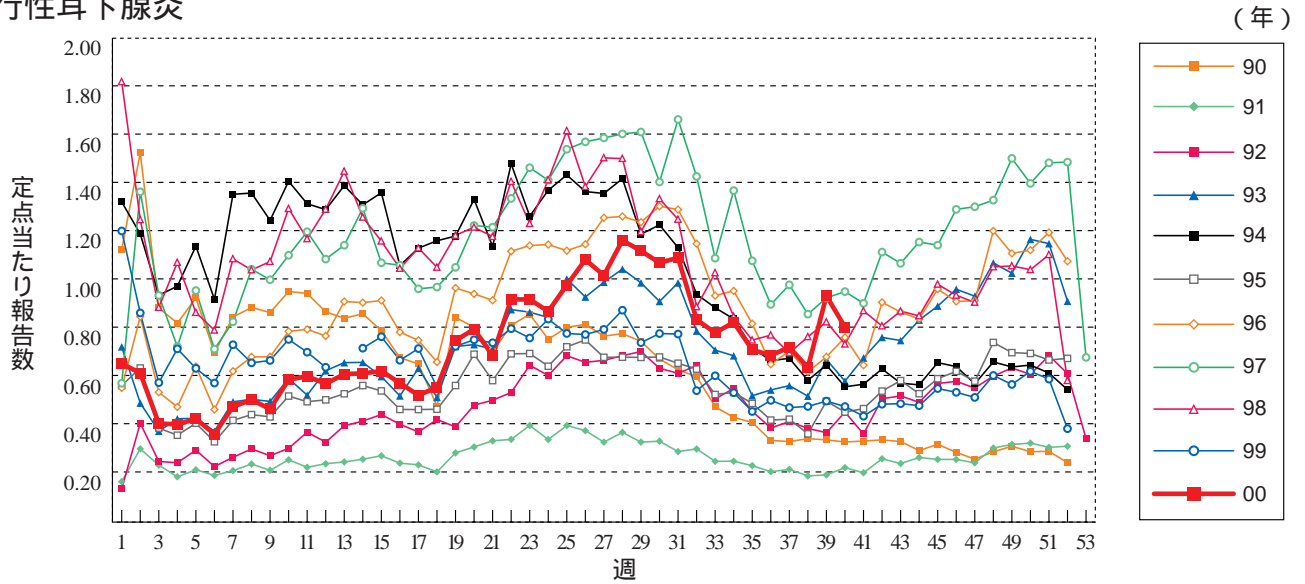
ヘルパンギーナ



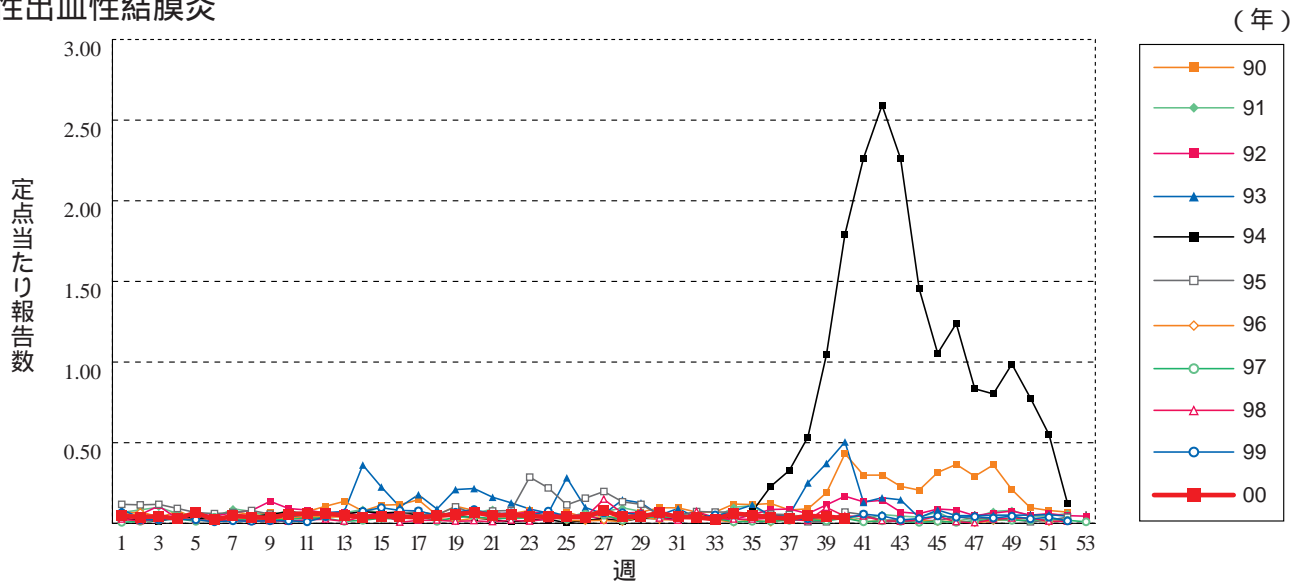
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



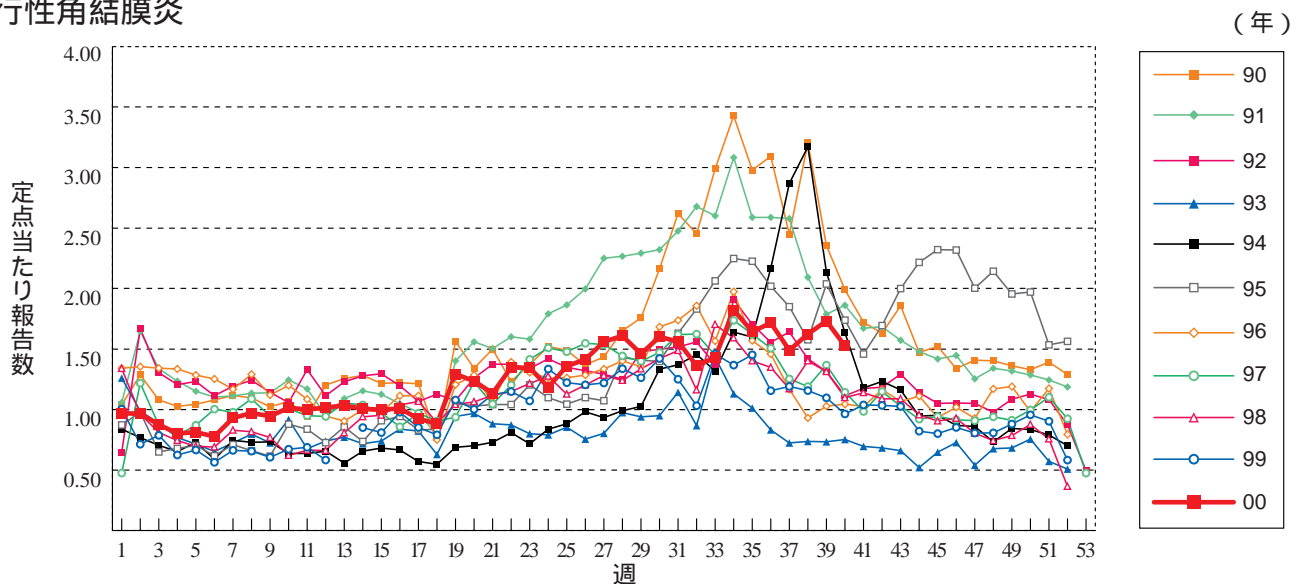
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

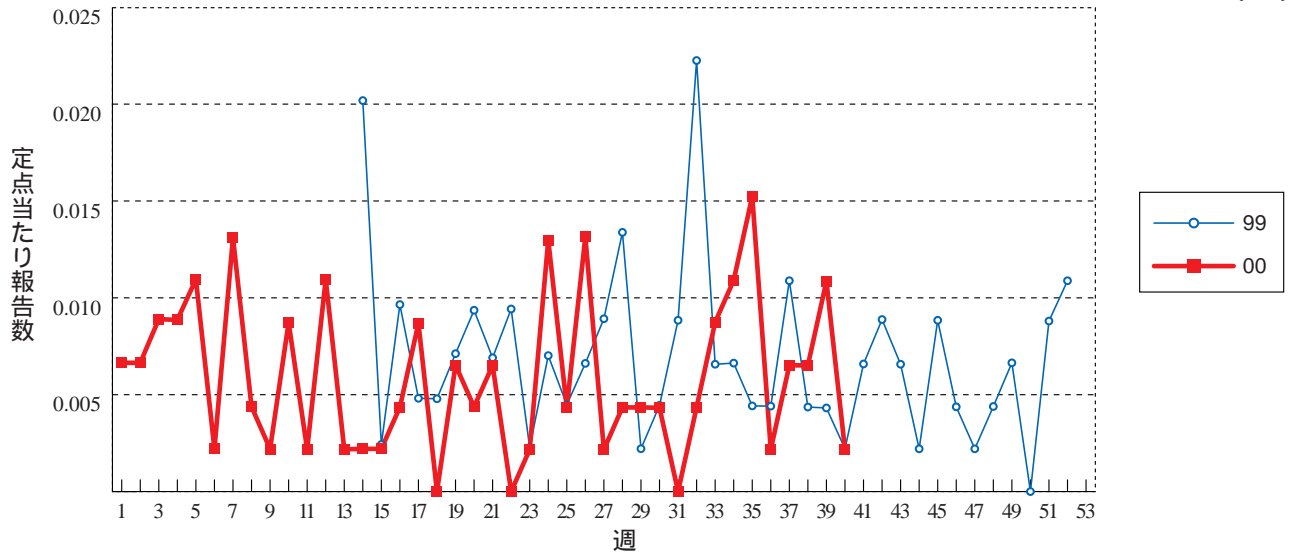


流行性角結膜炎



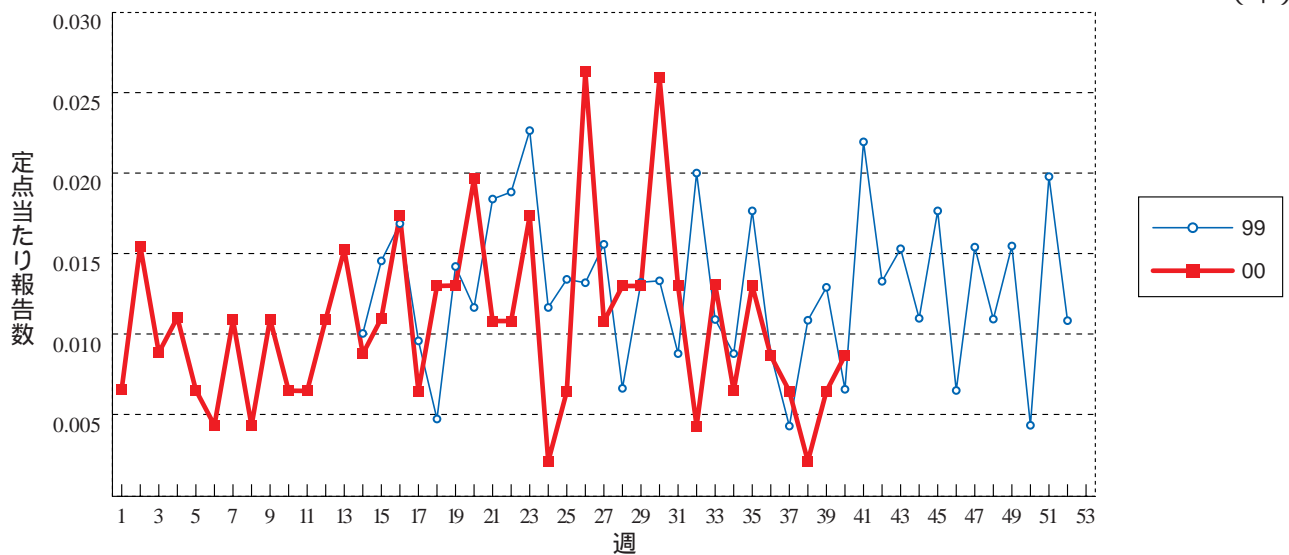
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



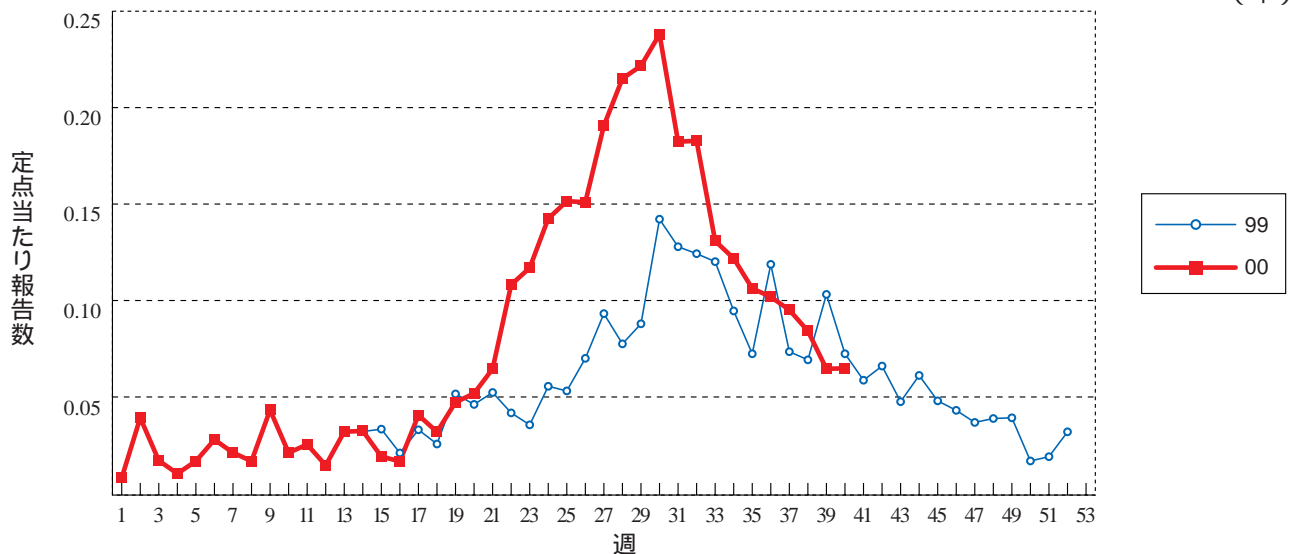
細菌性髄膜炎

(年)



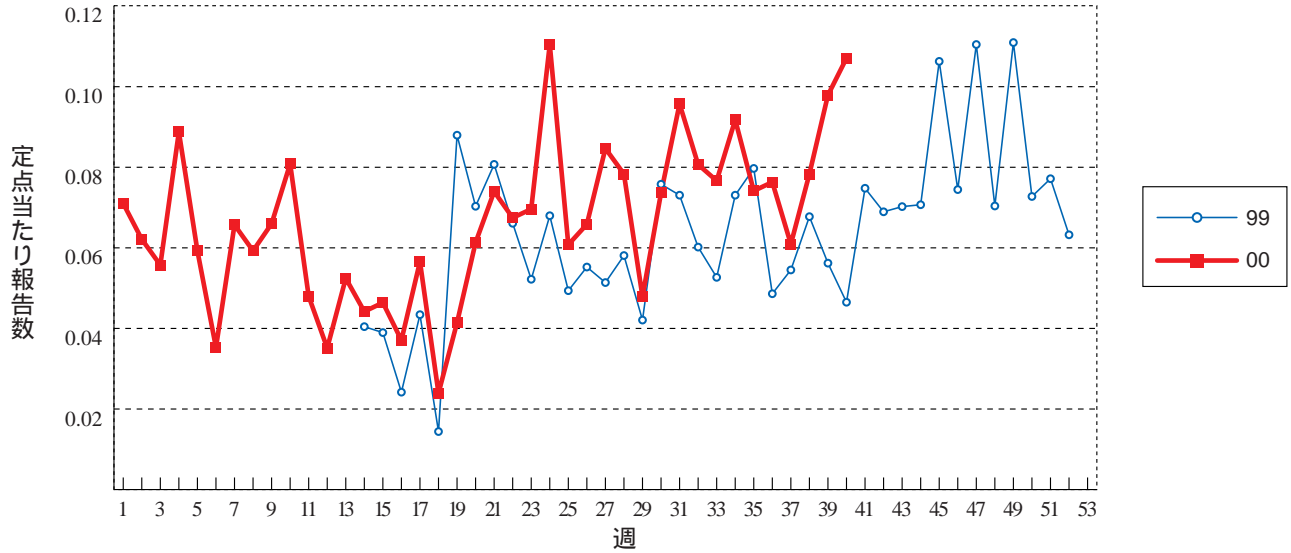
無菌性髄膜炎

(年)



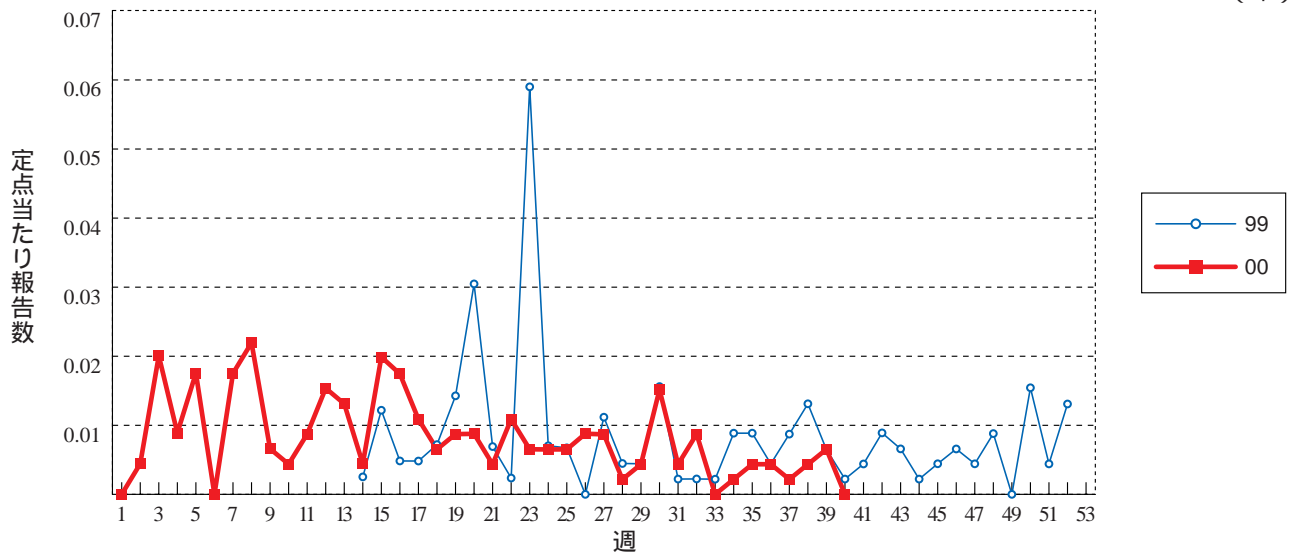
マイコプラズマ肺炎

(年)



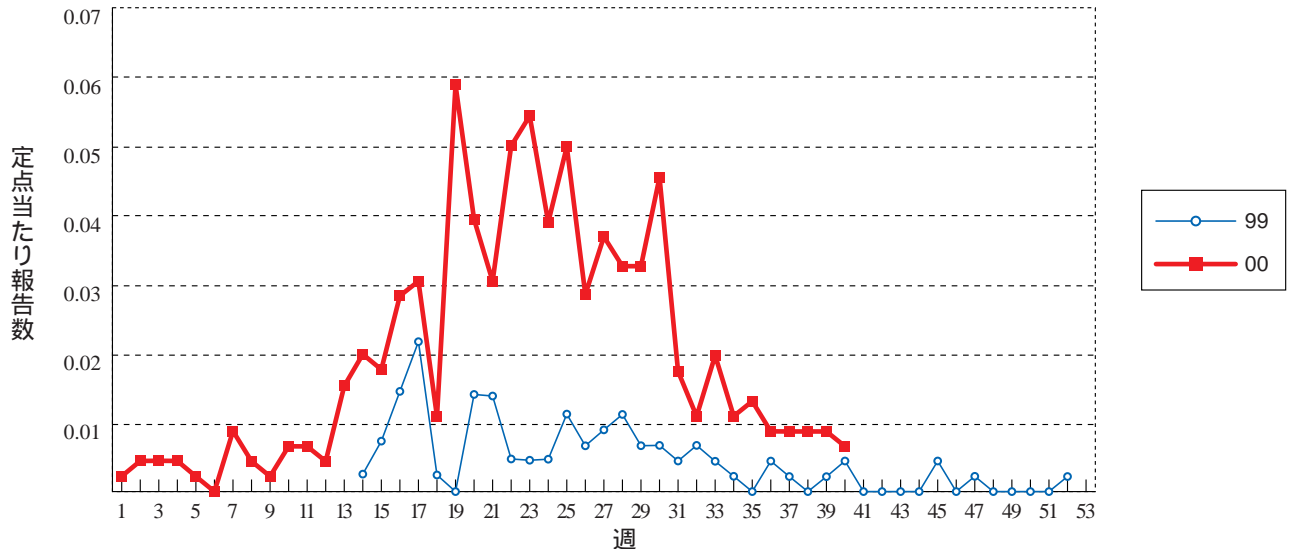
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

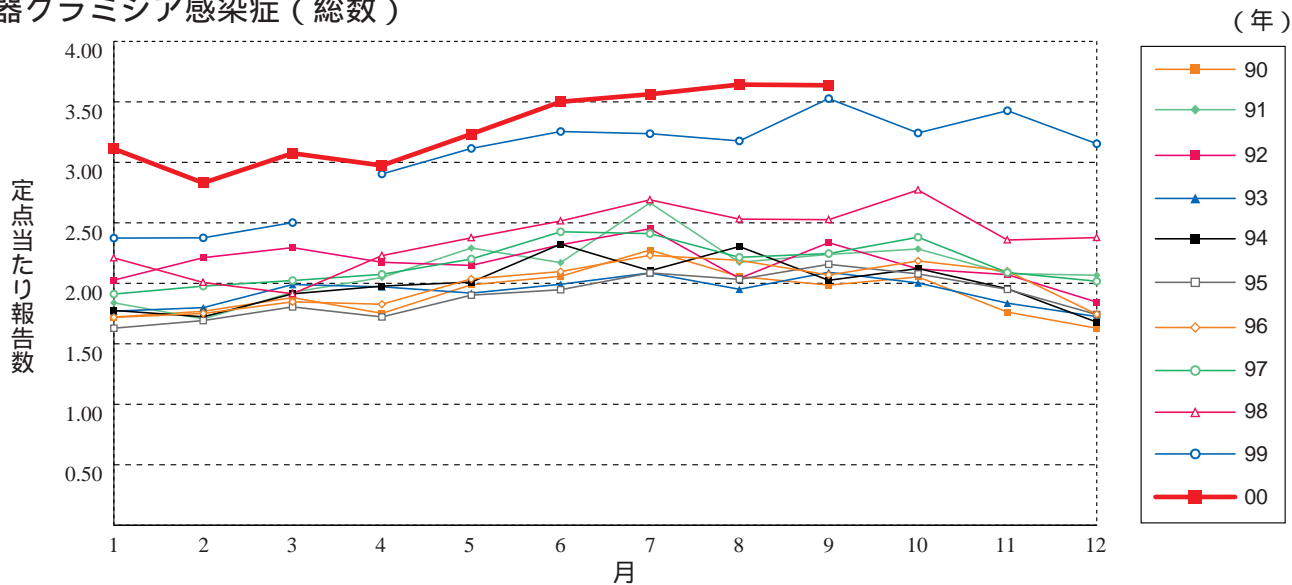




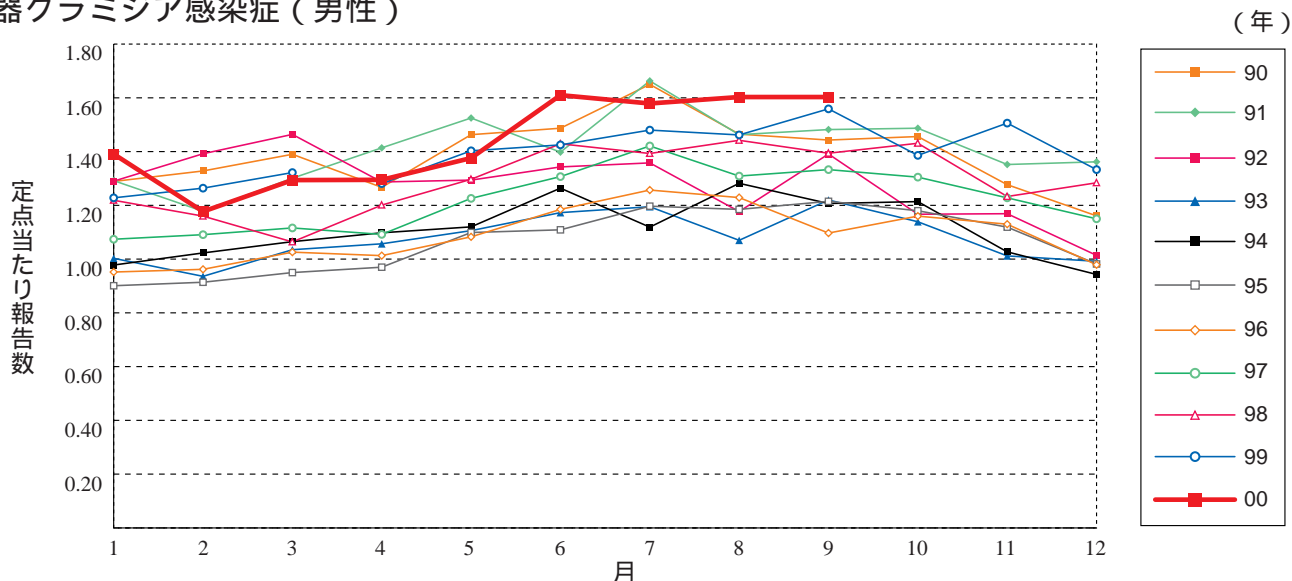
グラフ総覧(9月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

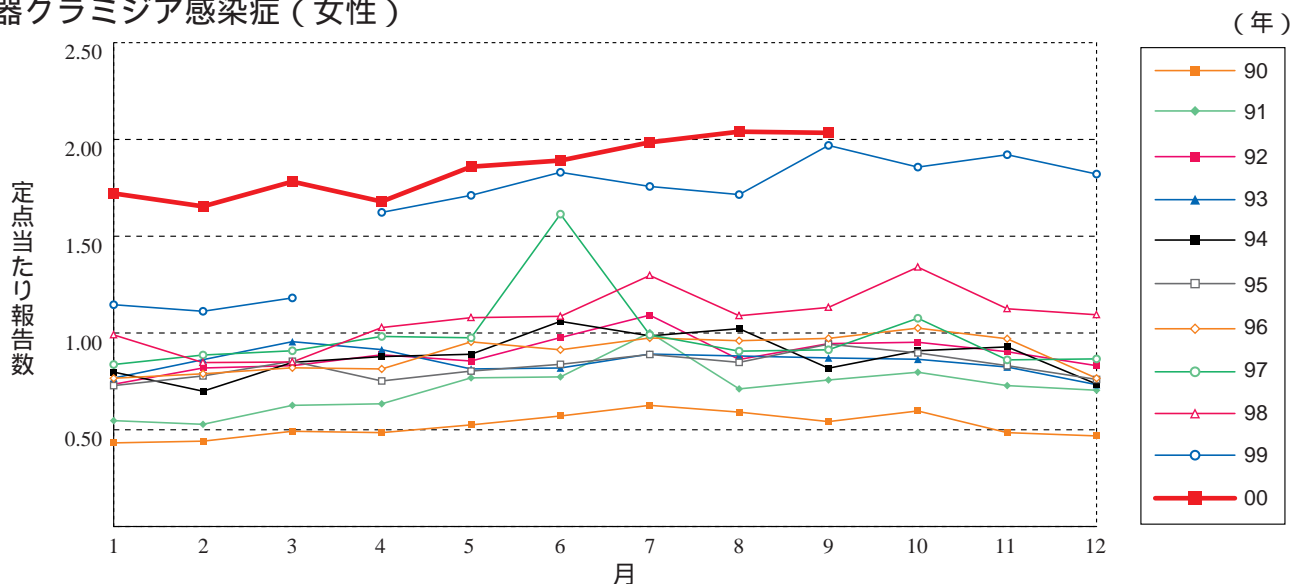
性器クラミジア感染症(総数)



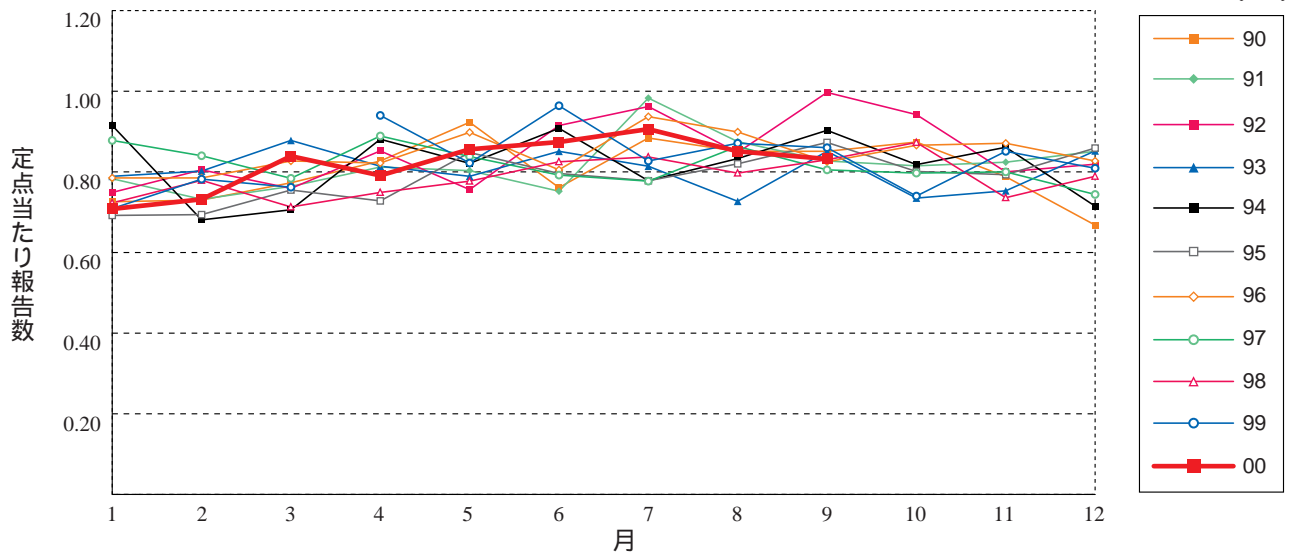
性器クラミジア感染症(男性)



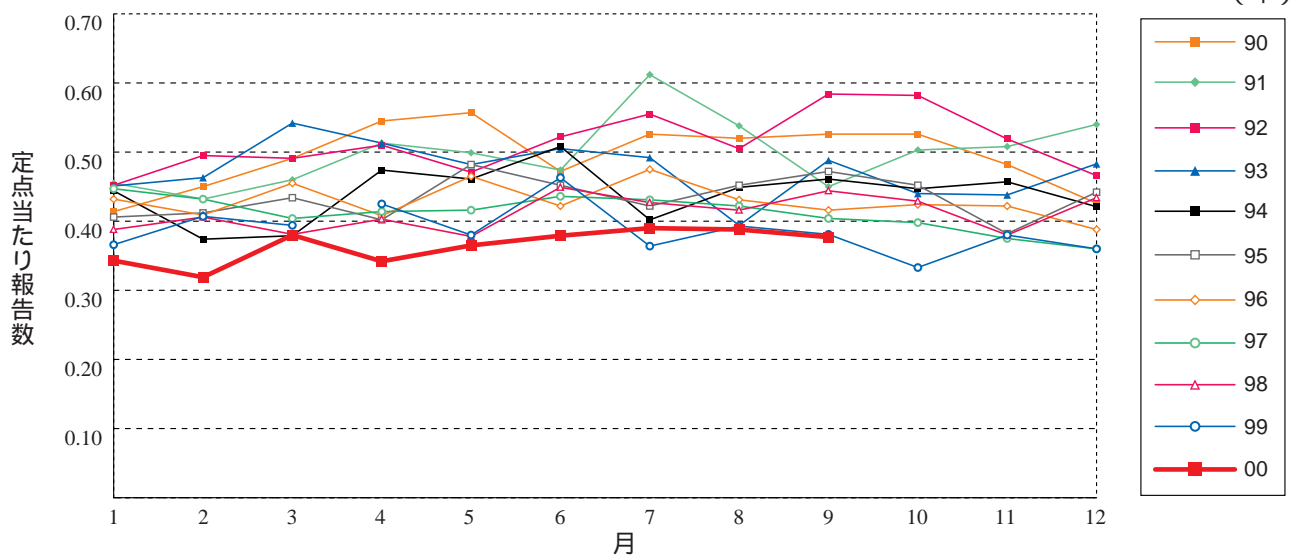
性器クラミジア感染症(女性)



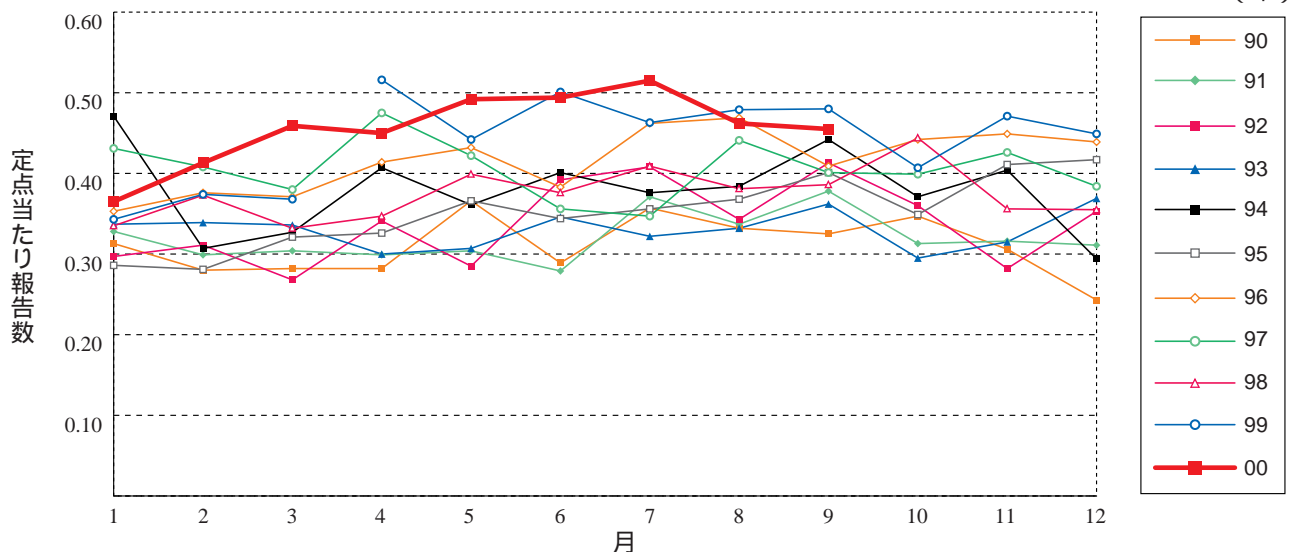
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



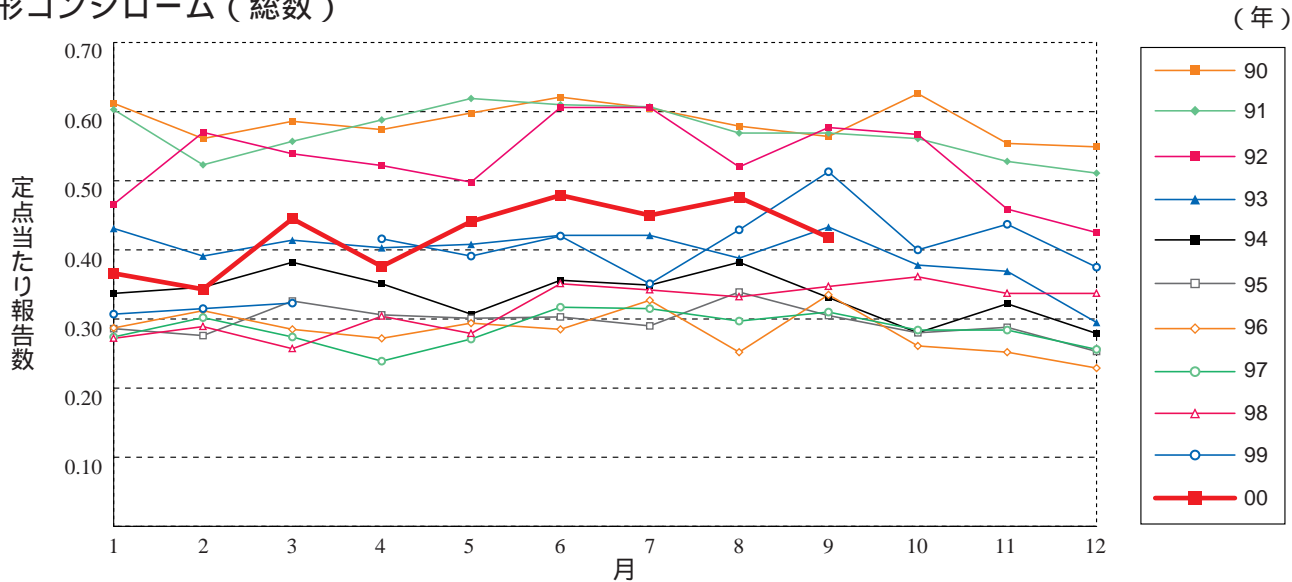
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



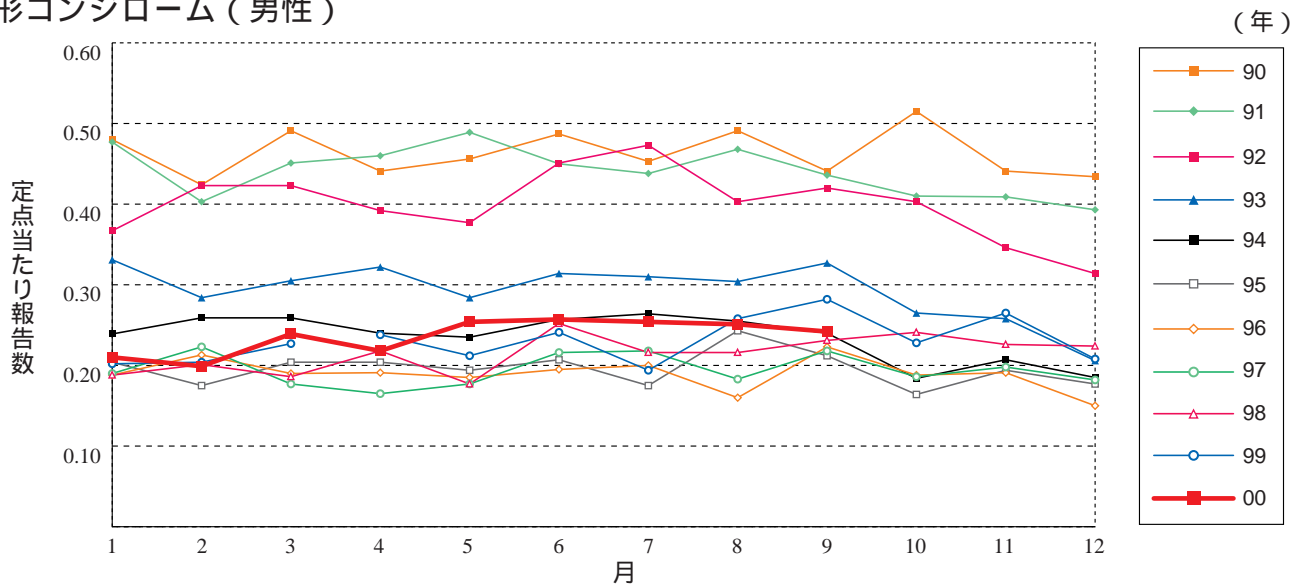
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



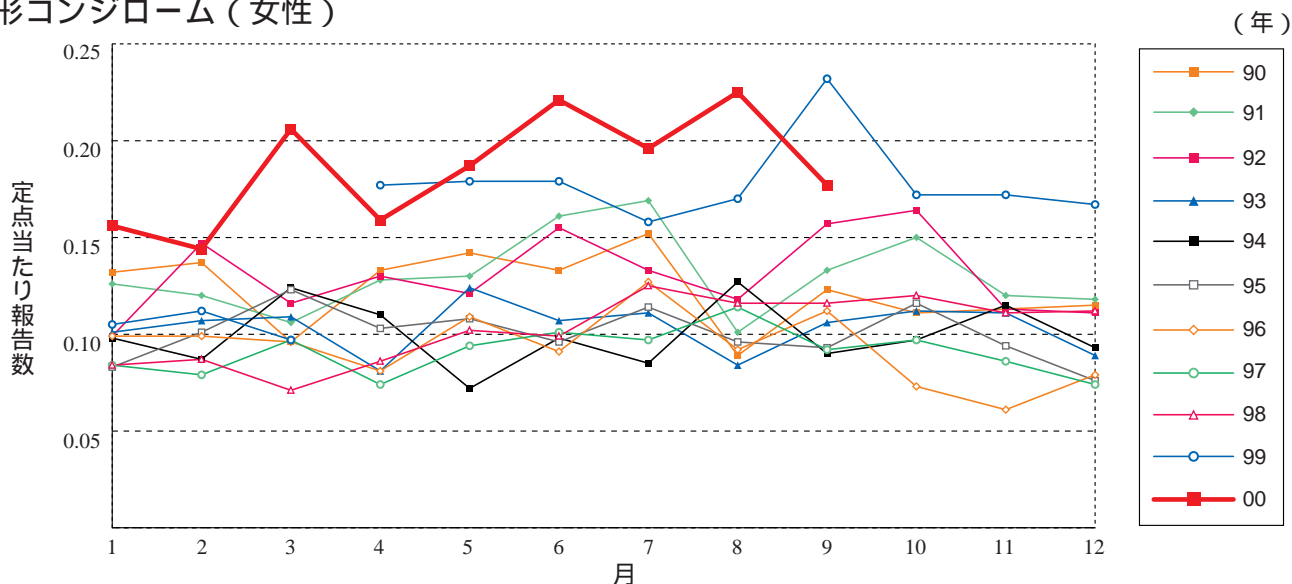
尖形コンジローム (総数)



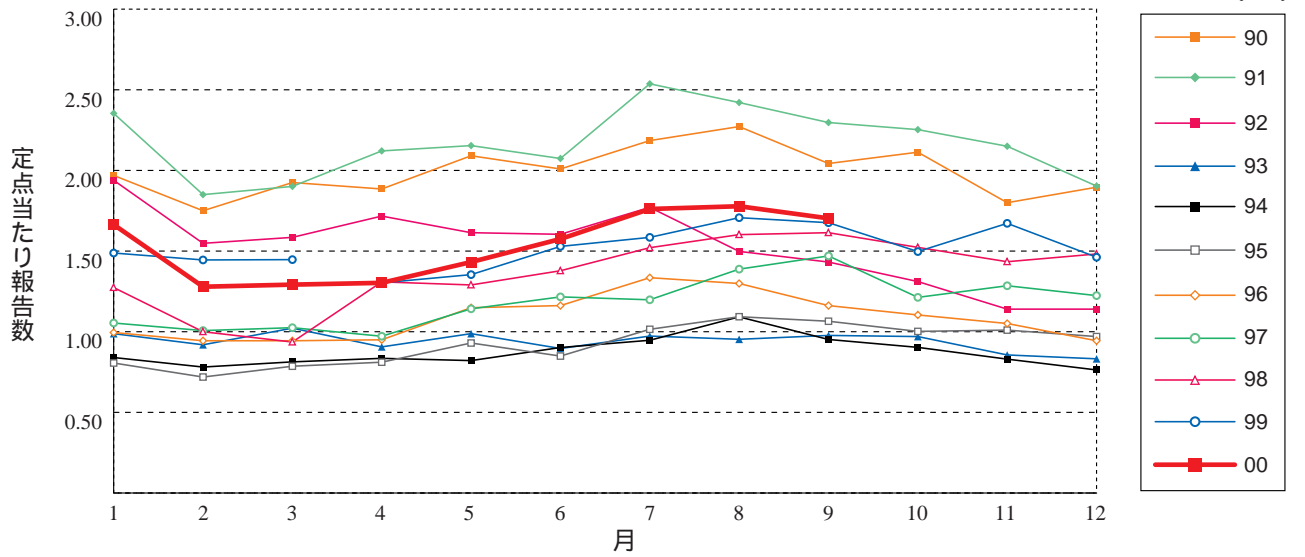
尖形コンジローム (男性)



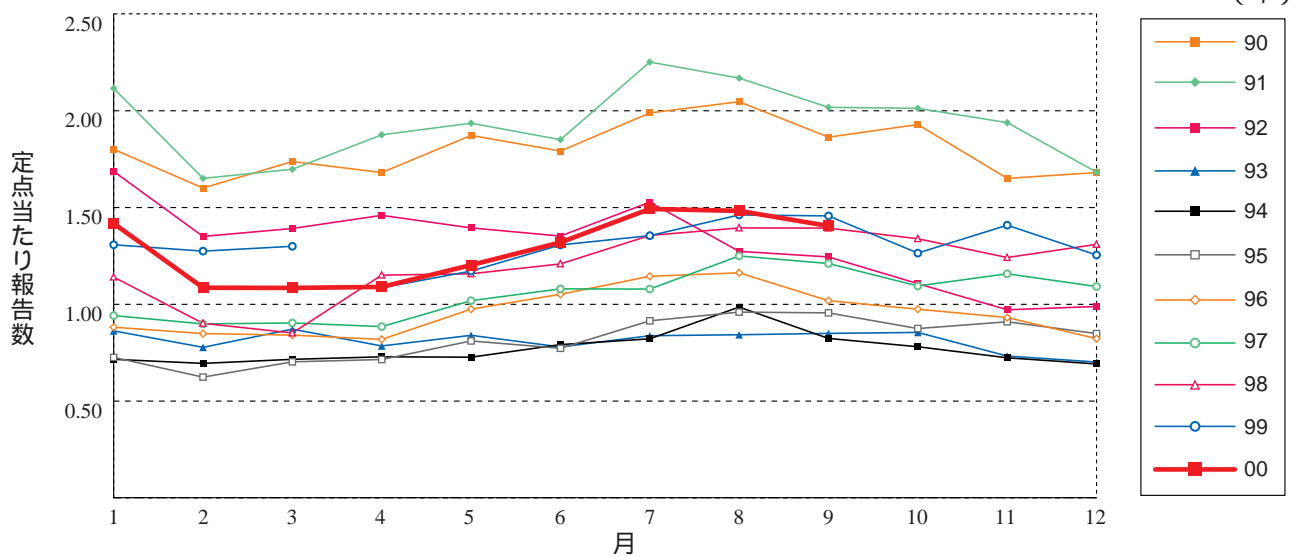
尖形コンジローム (女性)



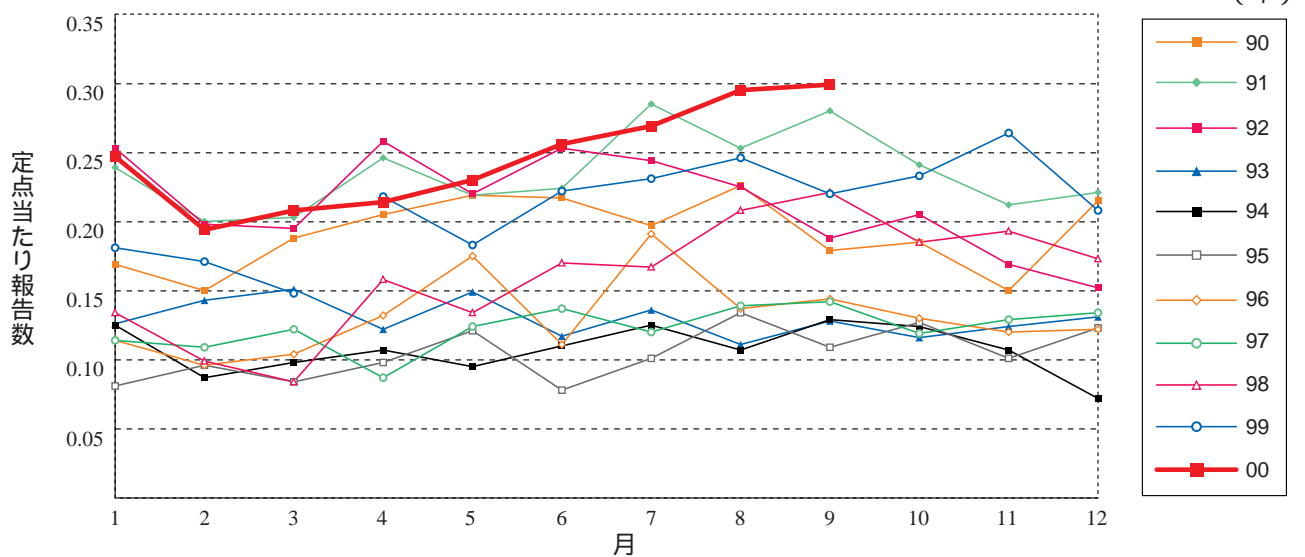
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

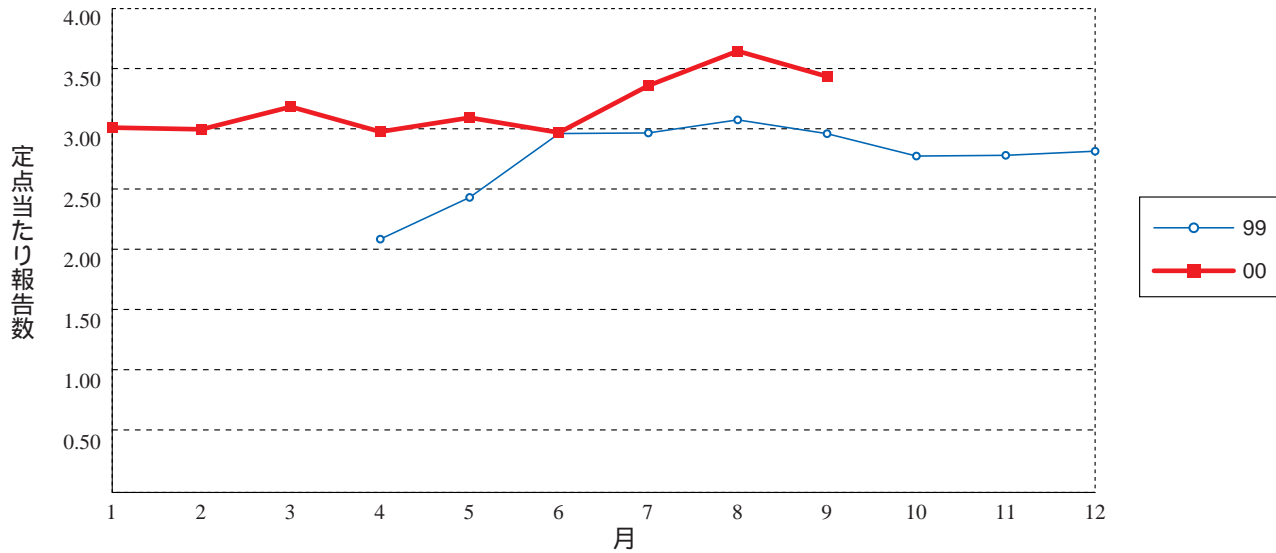


淋菌感染症（女性）



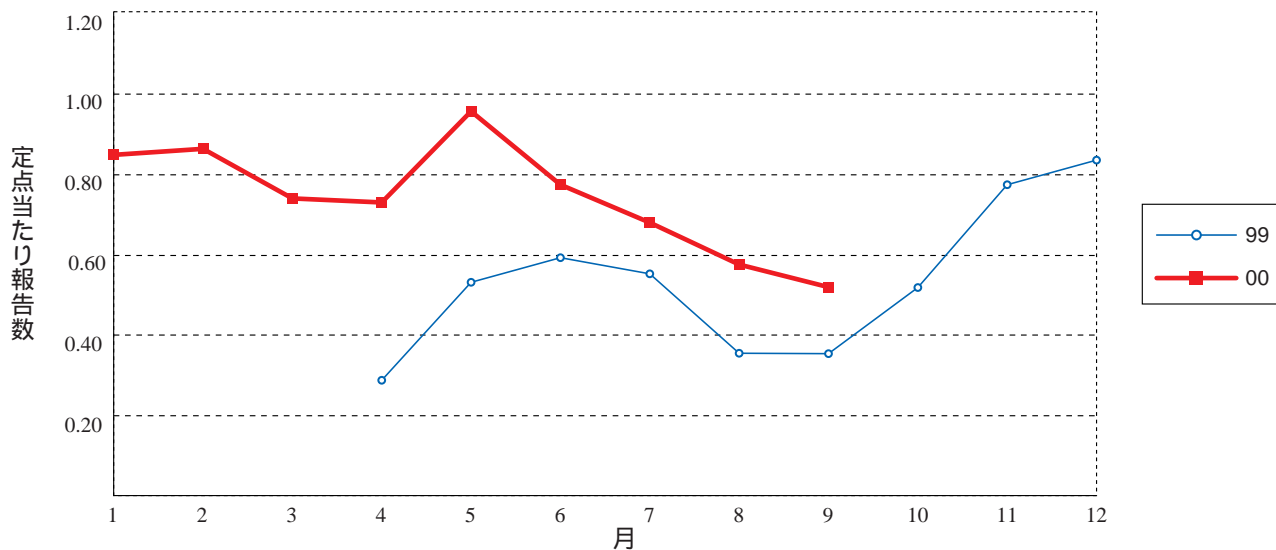
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



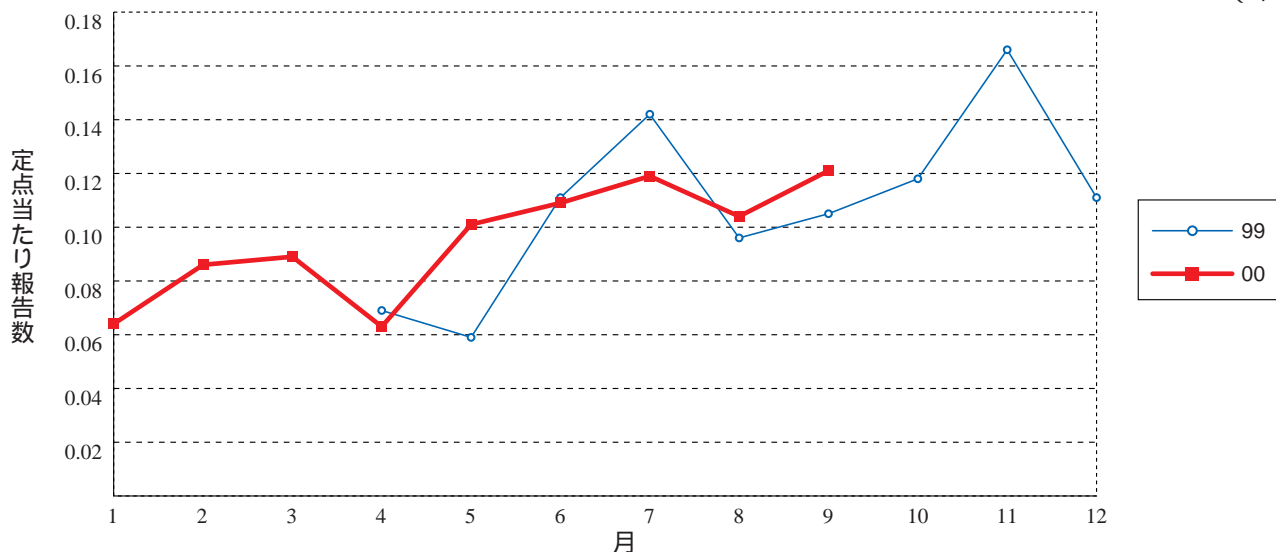
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





9月のデータ

注)表中の報告数は10月6日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（総数）

平成12年9月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3295	3.64	754	0.83	379	0.42	1543	1.70	1558	3.44	234	0.52	55	0.12
北海道	157	3.49	60	1.33	18	0.40	61	1.36	41	1.78	5	0.22	2	0.09
青森県	54	3.86	12	0.86	7	0.50	16	1.14	13	2.17	-	-	-	-
岩手県	78	6.00	11	0.85	8	0.62	13	1.00	35	1.75	1	0.05	4	0.20
宮城県	84	4.67	12	0.67	12	0.67	26	1.44	66	5.50	20	1.67	2	0.17
秋田県	21	1.50	1	0.07	6	0.43	3	0.21	12	1.50	4	0.50	-	-
山形県	50	5.00	1	0.10	2	0.20	9	0.90	31	3.44	8	0.89	2	0.22
福島県	29	1.81	8	0.50	5	0.31	14	0.88	5	0.71	-	-	-	-
茨城県	79	3.76	4	0.19	5	0.24	23	1.10	17	1.55	-	-	-	-
栃木県	69	4.60	5	0.33	6	0.40	32	2.13	15	2.14	-	-	-	-
群馬県	170	6.80	15	0.60	5	0.20	61	2.44	34	3.40	8	0.80	3	0.30
埼玉県	194	3.80	22	0.43	14	0.27	62	1.22	24	2.67	-	-	2	0.22
千葉県	102	2.62	31	0.79	12	0.31	44	1.13	32	3.56	34	3.78	-	-
東京都	254	6.20	77	1.88	43	1.05	102	2.49	118	6.56	23	1.28	9	0.50
神奈川県	148	2.47	22	0.37	14	0.23	72	1.20	22	2.00	2	0.18	-	-
新潟県	40	2.11	12	0.63	7	0.37	20	1.05	62	5.17	5	0.42	-	-
富山県	26	3.71	6	0.86	7	1.00	8	1.14	30	6.00	8	1.60	2	0.40
石川県	16	1.60	12	1.20	6	0.60	7	0.70	9	1.80	1	0.20	-	-
福井県	15	3.75	1	0.25	3	0.75	3	0.75	34	5.67	10	1.67	-	-
山梨県	10	2.00	-	-	-	-	-	-	35	3.50	6	0.60	1	0.10
長野県	38	2.53	11	0.73	6	0.40	13	0.87	24	2.18	8	0.73	-	-
岐阜県	23	1.53	8	0.53	2	0.13	12	0.80	19	3.80	6	1.20	-	-
静岡県	107	3.57	13	0.43	10	0.33	24	0.80	76	7.60	9	0.90	1	0.10
愛知県	231	4.62	41	0.82	21	0.42	127	2.54	53	4.08	2	0.15	-	-
三重県	37	2.47	5	0.33	1	0.07	16	1.07	56	6.22	-	-	-	-
滋賀県	12	1.33	3	0.33	1	0.11	7	0.78	28	4.00	-	-	-	-
京都府	42	1.83	12	0.52	6	0.26	10	0.43	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	348	6.00	144	2.48	57	0.98	301	5.19	26	2.89	2	0.22	-	-
兵庫県	66	1.47	20	0.44	10	0.22	31	0.69	32	2.91	2	0.18	-	-
奈良県	28	3.11	5	0.56	2	0.22	17	1.89	19	3.17	7	1.17	1	0.17
和歌山県	5	0.63	5	0.63	2	0.25	4	0.50	24	2.40	3	0.30	2	0.20
鳥取県	16	3.20	-	-	-	-	4	0.80	3	0.60	-	-	-	-
島根県	7	1.17	2	0.33	1	0.17	9	1.50	80	10.00	8	1.00	-	-
岡山県	67	3.94	8	0.47	10	0.59	34	2.00	8	1.60	-	-	-	-
広島県	83	3.19	15	0.58	9	0.35	36	1.38	111	5.29	7	0.33	12	0.57
山口県	33	2.75	7	0.58	5	0.42	19	1.58	52	6.50	9	1.13	3	0.38
徳島県	8	1.33	-	-	3	0.50	-	-	9	1.29	1	0.14	1	0.14
香川県	29	3.22	5	0.56	2	0.22	12	1.33	31	6.20	2	0.40	-	-
愛媛県	26	2.36	4	0.36	4	0.36	18	1.64	2	0.33	-	-	-	-
高知県	15	2.50	1	0.17	-	-	7	1.17	64	9.14	13	1.86	2	0.29
福岡県	187	7.48	41	1.64	13	0.52	108	4.32	19	1.12	1	0.06	-	-
佐賀県	31	4.43	11	1.57	-	-	21	3.00	21	3.50	7	1.17	1	0.17
長崎県	7	0.70	16	1.60	2	0.20	3	0.30	-	-	-	-	-	-
熊本県	97	6.93	30	2.14	3	0.21	52	3.71	43	2.87	4	0.27	2	0.13
大分県	10	1.00	11	1.10	2	0.20	11	1.10	28	2.80	3	0.30	1	0.10
宮崎県	55	5.00	8	0.73	4	0.36	15	1.36	30	4.29	1	0.14	2	0.29
鹿児島県	48	3.00	14	0.88	16	1.00	40	2.50	19	1.58	-	-	-	-
沖縄県	43	3.91	2	0.18	7	0.64	16	1.45	45	6.43	4	0.57	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成12年9月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1452	1.60	342	0.38	219	0.24	1272	1.40	990	2.19	149	0.33	41	0.09
北海道	27	0.60	4	0.09	6	0.13	33	0.73	28	1.22	3	0.13	2	0.09
青森県	30	2.14	4	0.29	2	0.14	11	0.79	7	1.17	-	-	-	-
岩手県	23	1.77	5	0.38	5	0.38	11	0.85	24	1.20	1	0.05	3	0.15
宮城県	43	2.39	4	0.22	9	0.50	24	1.33	36	3.00	19	1.58	2	0.17
秋田県	6	0.43	-	-	4	0.29	3	0.21	10	1.25	3	0.38	-	-
山形県	20	2.00	-	-	2	0.20	8	0.80	19	2.11	8	0.89	1	0.11
福島県	19	1.19	5	0.31	1	0.06	13	0.81	5	0.71	-	-	-	-
茨城県	38	1.81	2	0.10	1	0.05	20	0.95	13	1.18	-	-	-	-
栃木県	35	2.33	2	0.13	1	0.07	28	1.87	10	1.43	-	-	-	-
群馬県	88	3.52	5	0.20	2	0.08	50	2.00	21	2.10	3	0.30	2	0.20
埼玉県	86	1.69	7	0.14	10	0.20	58	1.14	10	1.11	-	-	1	0.11
千葉県	40	1.03	15	0.38	5	0.13	39	1.00	22	2.44	19	2.11	-	-
東京都	118	2.88	58	1.41	28	0.68	79	1.93	81	4.50	13	0.72	8	0.44
神奈川県	94	1.57	16	0.27	11	0.18	68	1.13	11	1.00	1	0.09	-	-
新潟県	24	1.26	8	0.42	5	0.26	20	1.05	46	3.83	2	0.17	-	-
富山県	8	1.14	1	0.14	3	0.43	7	1.00	22	4.40	3	0.60	2	0.40
石川県	12	1.20	7	0.70	3	0.30	6	0.60	5	1.00	-	-	-	-
福井県	7	1.75	1	0.25	3	0.75	3	0.75	20	3.33	6	1.00	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	25	2.50	6	0.60	-	-
長野県	10	0.67	4	0.27	4	0.27	11	0.73	16	1.45	6	0.55	-	-
岐阜県	17	1.13	5	0.33	2	0.13	11	0.73	11	2.20	3	0.60	-	-
静岡県	39	1.30	1	0.03	4	0.13	20	0.67	51	5.10	7	0.70	1	0.10
愛知県	146	2.92	31	0.62	17	0.34	110	2.20	29	2.23	2	0.15	-	-
三重県	12	0.80	4	0.27	1	0.07	16	1.07	37	4.11	-	-	-	-
滋賀県	5	0.56	-	-	-	-	7	0.78	21	3.00	-	-	-	-
京都府	12	0.52	2	0.09	3	0.13	9	0.39	1	0.17	-	-	-	-
大阪府	166	2.86	73	1.26	34	0.59	222	3.83	14	1.56	1	0.11	-	-
兵庫県	28	0.62	7	0.16	6	0.13	27	0.60	20	1.82	2	0.18	-	-
奈良県	20	2.22	4	0.44	-	-	15	1.67	16	2.67	4	0.67	1	0.17
和歌山県	2	0.25	4	0.50	1	0.13	3	0.38	17	1.70	1	0.10	1	0.10
鳥取県	7	1.40	-	-	-	-	4	0.80	1	0.20	-	-	-	-
島根県	5	0.83	-	-	-	-	6	1.00	50	6.25	6	0.75	-	-
岡山県	15	0.88	-	-	7	0.41	26	1.53	7	1.40	-	-	-	-
広島県	21	0.81	8	0.31	3	0.12	34	1.31	65	3.10	3	0.14	8	0.38
山口県	9	0.75	3	0.25	3	0.25	16	1.33	32	4.00	4	0.50	1	0.13
徳島県	-	-	-	-	1	0.17	-	-	4	0.57	1	0.14	1	0.14
香川県	11	1.22	5	0.56	2	0.22	12	1.33	18	3.60	1	0.20	-	-
愛媛県	10	0.91	3	0.27	3	0.27	17	1.55	2	0.33	-	-	-	-
高知県	7	1.17	1	0.17	-	-	7	1.17	48	6.86	8	1.14	2	0.29
福岡県	79	3.16	17	0.68	10	0.40	90	3.60	12	0.71	1	0.06	-	-
佐賀県	18	2.57	-	-	-	-	18	2.57	12	2.00	6	1.00	1	0.17
長崎県	1	0.10	7	0.70	-	-	3	0.30	-	-	-	-	-	-
熊本県	31	2.21	6	0.43	1	0.07	39	2.79	22	1.47	1	0.07	2	0.13
大分県	7	0.70	5	0.50	1	0.10	10	1.00	19	1.90	2	0.20	-	-
宮崎県	27	2.45	1	0.09	2	0.18	13	1.18	15	2.14	1	0.14	2	0.29
鹿児島県	26	1.63	6	0.38	9	0.56	34	2.13	11	0.92	-	-	-	-
沖縄県	3	0.27	1	0.09	4	0.36	11	1.00	24	3.43	2	0.29	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成12年9月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1843	2.03	412	0.45	160	0.18	271	0.30	568	1.25	85	0.19	14	0.03
北海道	130	2.89	56	1.24	12	0.27	28	0.62	13	0.57	2	0.09	-	-
青森県	24	1.71	8	0.57	5	0.36	5	0.36	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	55	4.23	6	0.46	3	0.23	2	0.15	11	0.55	-	-	1	0.05
宮城県	41	2.28	8	0.44	3	0.17	2	0.11	30	2.50	1	0.08	-	-
秋田県	15	1.07	1	0.07	2	0.14	-	-	2	0.25	1	0.13	-	-
山形県	30	3.00	1	0.10	-	-	1	0.10	12	1.33	-	-	1	0.11
福島県	10	0.63	3	0.19	4	0.25	1	0.06	-	-	-	-	-	-
茨城県	41	1.95	2	0.10	4	0.19	3	0.14	4	0.36	-	-	-	-
栃木県	34	2.27	3	0.20	5	0.33	4	0.27	5	0.71	-	-	-	-
群馬県	82	3.28	10	0.40	3	0.12	11	0.44	13	1.30	5	0.50	1	0.10
埼玉県	108	2.12	15	0.29	4	0.08	4	0.08	14	1.56	-	-	1	0.11
千葉県	62	1.59	16	0.41	7	0.18	5	0.13	10	1.11	15	1.67	-	-
東京都	136	3.32	19	0.46	15	0.37	23	0.56	37	2.06	10	0.56	1	0.06
神奈川県	54	0.90	6	0.10	3	0.05	4	0.07	11	1.00	1	0.09	-	-
新潟県	16	0.84	4	0.21	2	0.11	-	-	16	1.33	3	0.25	-	-
富山県	18	2.57	5	0.71	4	0.57	1	0.14	8	1.60	5	1.00	-	-
石川県	4	0.40	5	0.50	3	0.30	1	0.10	4	0.80	1	0.20	-	-
福井県	8	2.00	-	-	-	-	-	-	14	2.33	4	0.67	-	-
山梨県	10	2.00	-	-	-	-	-	-	10	1.00	-	-	1	0.10
長野県	28	1.87	7	0.47	2	0.13	2	0.13	8	0.73	2	0.18	-	-
岐阜県	6	0.40	3	0.20	-	-	1	0.07	8	1.60	3	0.60	-	-
静岡県	68	2.27	12	0.40	6	0.20	4	0.13	25	2.50	2	0.20	-	-
愛知県	85	1.70	10	0.20	4	0.08	17	0.34	24	1.85	-	-	-	-
三重県	25	1.67	1	0.07	-	-	-	-	19	2.11	-	-	-	-
滋賀県	7	0.78	3	0.33	1	0.11	-	-	7	1.00	-	-	-	-
京都府	30	1.30	10	0.43	3	0.13	1	0.04	-	-	-	-	-	-
大阪府	182	3.14	71	1.22	23	0.40	79	1.36	12	1.33	1	0.11	-	-
兵庫県	38	0.84	13	0.29	4	0.09	4	0.09	12	1.09	-	-	-	-
奈良県	8	0.89	1	0.11	2	0.22	2	0.22	3	0.50	3	0.50	-	-
和歌山県	3	0.38	1	0.13	1	0.13	1	0.13	7	0.70	2	0.20	1	0.10
鳥取県	9	1.80	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-	-
島根県	2	0.33	2	0.33	1	0.17	3	0.50	30	3.75	2	0.25	-	-
岡山県	52	3.06	8	0.47	3	0.18	8	0.47	1	0.20	-	-	-	-
広島県	62	2.38	7	0.27	6	0.23	2	0.08	46	2.19	4	0.19	4	0.19
山口県	24	2.00	4	0.33	2	0.17	3	0.25	20	2.50	5	0.63	2	0.25
徳島県	8	1.33	-	-	2	0.33	-	-	5	0.71	-	-	-	-
香川県	18	2.00	-	-	-	-	-	-	13	2.60	1	0.20	-	-
愛媛県	16	1.45	1	0.09	1	0.09	1	0.09	-	-	-	-	-	-
高知県	8	1.33	-	-	-	-	-	-	16	2.29	5	0.71	-	-
福岡県	108	4.32	24	0.96	3	0.12	18	0.72	7	0.41	-	-	-	-
佐賀県	13	1.86	11	1.57	-	-	3	0.43	9	1.50	1	0.17	-	-
長崎県	6	0.60	9	0.90	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	66	4.71	24	1.71	2	0.14	13	0.93	21	1.40	3	0.20	-	-
大分県	3	0.30	6	0.60	1	0.10	1	0.10	9	0.90	1	0.10	1	0.10
宮崎県	28	2.55	7	0.64	2	0.18	2	0.18	15	2.14	-	-	-	-
鹿児島県	22	1.38	8	0.50	7	0.44	6	0.38	8	0.67	-	-	-	-
沖縄県	40	3.64	1	0.09	3	0.27	5	0.45	21	3.00	2	0.29	-	-



40週のデータ

注)表中の報告数は10月13日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年40週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	46	25	602	1	74	1	16
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	18	-	3	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	-	3	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	24	-	4	-	3	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	119	-	13	-	7	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	49	-	4	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	15	-	1	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	11	-	4	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	40	-	5	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	1	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	20	1	2	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	54	-	7	1	4	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	23	-	7	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	14	-	3	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	8	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	29	-	1	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年40週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	68	2903	5	286	-	18	-	-	-	14	-	-	4	783
北海道	-	-	-	-	1	87	1	5	-	17	-	-	-	-	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	1	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岩手県	-	-	-	-	2	101	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	52	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
秋田県	-	-	-	-	2	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山形県	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	1	18	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	2	29	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	1	-	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	2	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22
埼玉県	-	-	-	-	3	83	-	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
千葉県	-	-	-	-	3	87	-	12	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12
東京都	-	-	-	-	5	247	2	72	-	-	-	-	-	3	-	-	3	87
神奈川県	-	-	-	-	-	148	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
新潟県	-	-	-	-	-	18	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	46	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
福井県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
長野県	-	-	-	-	3	25	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	24	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
静岡県	-	-	-	-	-	31	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
愛知県	-	-	-	-	6	192	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	2	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	-	42	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
大阪府	-	-	-	-	6	294	-	47	-	-	-	-	-	1	-	-	-	88
兵庫県	-	-	-	-	4	149	1	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85
奈良県	-	-	-	-	4	24	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
和歌山県	-	-	-	-	-	35	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鳥取県	-	-	-	-	-	26	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	4	75	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	28
広島県	-	-	-	-	2	103	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
山口県	-	-	-	-	1	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
香川県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	22	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福岡県	-	-	-	-	6	277	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39
佐賀県	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	1	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
大分県	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	1	-	-	4	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	1	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
沖縄県	-	-	-	-	1	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年40週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	15	-	-	-	3	-	71	-	37	7	576	-	1	2	71	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	38	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	15	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	30	-	-	1	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	-	47	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	9	-	3	3	228	-	1	-	13	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	34	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	3	-	2	-	16	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	15	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	36	-	-	-	8	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	5	1	15	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年40週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	12	-	1	-	-	1	221	-	14	-	21	-	6	-	-	9	582
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	10	-	-	-	6	-	-	-	-	-	20
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	1	87
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	24
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	10
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	101
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-	-	-	1	36
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	19
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	24	-	-	-	2	-	-	-	-	-	10
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年40週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	73	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	2	123	-	9	1	123
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	9	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
栃木県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	4
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4
千葉県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
東京都	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	51	-	-	-	7
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	28
愛知県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	3
兵庫県	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年40週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	76	0.02	260	0.09	2042	0.68	5651	1.89	1851	0.62	3704	1.24	360	0.12	2532	0.85	61	0.02
北海道	-	-	4	0.03	148	1.02	185	1.28	105	0.72	203	1.40	31	0.21	109	0.75	1	0.01
青森県	2	0.03	-	-	16	0.39	14	0.34	49	1.20	86	2.10	3	0.07	18	0.44	2	0.05
岩手県	1	0.02	-	-	31	0.82	34	0.89	22	0.58	37	0.97	19	0.50	30	0.79	-	-
宮城県	1	0.01	-	-	58	0.98	157	2.66	41	0.69	129	2.19	11	0.19	73	1.24	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	28	0.80	57	1.63	15	0.43	43	1.23	-	-	24	0.69	1	0.03
山形県	-	-	-	-	26	0.90	44	1.52	54	1.86	59	2.03	7	0.24	34	1.17	-	-
福島県	-	-	2	0.04	19	0.40	123	2.62	29	0.62	124	2.64	3	0.06	35	0.74	-	-
茨城県	2	0.02	4	0.06	61	0.85	93	1.29	34	0.47	83	1.15	5	0.07	36	0.50	1	0.01
栃木県	-	-	-	-	26	0.58	74	1.64	10	0.22	89	1.98	1	0.02	20	0.44	-	-
群馬県	-	-	7	0.11	60	0.98	93	1.52	50	0.82	28	0.46	7	0.11	46	0.75	-	-
埼玉県	5	0.02	9	0.06	133	0.85	346	2.20	70	0.45	173	1.10	29	0.18	143	0.91	2	0.01
千葉県	-	-	5	0.04	111	0.87	176	1.38	64	0.50	294	2.30	25	0.20	91	0.71	2	0.02
東京都	-	-	6	0.04	47	0.33	260	1.83	45	0.32	188	1.32	5	0.04	73	0.51	1	0.01
神奈川県	17	0.05	15	0.07	79	0.39	358	1.75	91	0.44	128	0.62	23	0.11	206	1.00	5	0.02
新潟県	4	0.04	6	0.10	64	1.07	121	2.02	62	1.03	85	1.42	13	0.22	54	0.90	5	0.08
富山県	-	-	1	0.03	28	0.97	53	1.83	13	0.45	56	1.93	1	0.03	24	0.83	-	-
石川県	1	0.02	1	0.03	6	0.21	100	3.45	26	0.90	63	2.17	-	-	26	0.90	1	0.03
福井県	-	-	5	0.23	19	0.86	76	3.45	24	1.09	48	2.18	1	0.05	23	1.05	-	-
山梨県	10	0.24	-	-	11	0.44	27	1.08	9	0.36	57	2.28	8	0.32	11	0.44	-	-
長野県	-	-	13	0.25	52	1.00	103	1.98	43	0.83	138	2.65	6	0.12	51	0.98	-	-
岐阜県	4	0.05	3	0.06	43	0.81	36	0.68	26	0.49	71	1.34	-	-	26	0.49	-	-
静岡県	-	-	14	0.16	44	0.51	190	2.21	35	0.41	184	2.14	8	0.09	92	1.07	3	0.03
愛知県	4	0.02	3	0.02	105	0.58	318	1.75	136	0.75	310	1.70	35	0.19	136	0.75	5	0.03
三重県	1	0.01	4	0.09	30	0.67	146	3.24	34	0.76	64	1.42	5	0.11	37	0.82	-	-
滋賀県	-	-	3	0.10	34	1.13	39	1.30	15	0.50	21	0.70	4	0.13	20	0.67	-	-
京都府	4	0.03	2	0.03	27	0.36	183	2.47	28	0.38	54	0.73	5	0.07	29	0.39	1	0.01
大阪府	3	0.01	38	0.20	76	0.40	321	1.68	93	0.49	59	0.31	11	0.06	139	0.73	6	0.03
兵庫県	-	-	16	0.12	57	0.43	313	2.35	84	0.63	146	1.10	13	0.10	139	1.05	4	0.03
奈良県	-	-	3	0.09	11	0.31	57	1.63	32	0.91	30	0.86	-	-	26	0.74	-	-
和歌山県	-	-	3	0.10	22	0.71	29	0.94	34	1.10	12	0.39	2	0.06	22	0.71	-	-
鳥取県	-	-	6	0.32	98	5.16	64	3.37	15	0.79	61	3.21	1	0.05	22	1.16	-	-
島根県	-	-	-	-	5	0.22	47	2.04	8	0.35	80	3.48	-	-	13	0.57	1	0.04
岡山県	-	-	4	0.07	24	0.44	77	1.43	31	0.57	41	0.76	1	0.02	31	0.57	-	-
広島県	-	-	12	0.16	46	0.61	124	1.65	56	0.75	55	0.73	4	0.05	76	1.01	5	0.07
山口県	-	-	4	0.08	43	0.88	98	2.00	40	0.82	61	1.24	1	0.02	67	1.37	2	0.04
徳島県	-	-	2	0.09	7	0.30	38	1.65	21	0.91	10	0.43	-	-	19	0.83	1	0.04
香川県	-	-	4	0.13	10	0.31	38	1.19	21	0.66	20	0.63	11	0.34	27	0.84	-	-
愛媛県	-	-	8	0.21	21	0.54	101	2.59	13	0.33	33	0.85	3	0.08	41	1.05	2	0.05
高知県	-	-	4	0.13	21	0.68	32	1.03	10	0.32	34	1.10	-	-	26	0.84	2	0.06
福岡県	-	-	14	0.18	49	0.62	264	3.34	66	0.84	33	0.42	20	0.25	99	1.25	6	0.08
佐賀県	1	0.03	-	-	19	0.83	39	1.70	19	0.83	11	0.48	14	0.61	55	2.39	-	-
長崎県	-	-	1	0.02	10	0.23	83	1.89	27	0.61	13	0.30	1	0.02	27	0.61	-	-
熊本県	3	0.04	11	0.22	39	0.80	88	1.80	34	0.69	20	0.41	15	0.31	72	1.47	-	-
大分県	-	-	10	0.28	69	1.92	83	2.31	26	0.72	37	1.03	2	0.06	49	1.36	-	-
宮崎県	-	-	10	0.27	58	1.57	163	4.41	30	0.81	98	2.65	5	0.14	48	1.30	-	-
鹿児島県	11	0.11	1	0.02	28	0.47	164	2.73	34	0.57	11	0.18	1	0.02	53	0.88	-	-
沖縄県	2	0.03	1	0.03	23	0.68	22	0.65	27	0.79	24	0.71	-	-	14	0.41	2	0.06

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年40週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	35	0.01	1393	0.47	182	0.06	2408	0.81	20	0.03	955	1.53	1	0.00	4	0.01	30	0.07
北海道	3	0.02	85	0.59	13	0.09	189	1.30	-	-	29	1.00	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	34	0.83	2	0.05	42	1.02	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	8	0.21	-	-	20	0.53	-	-	18	1.50	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	26	0.44	-	-	13	0.22	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	27	0.77	-	-	10	0.29	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	58	2.00	-	-	13	0.45	-	-	10	1.25	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.02	47	1.00	-	-	5	0.11	1	0.08	18	1.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	13	0.18	1	0.01	43	0.60	-	-	78	4.88	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	4	0.09	3	0.07	8	0.18	-	-	13	1.08	-	-	-	-	1	0.17
群馬県	-	-	7	0.11	-	-	120	1.97	1	0.07	33	2.36	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	26	0.17	5	0.03	170	1.08	-	-	41	1.21	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	15	0.12	3	0.02	114	0.89	2	0.06	68	2.00	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	28	0.20	12	0.08	99	0.70	-	-	32	2.29	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.01	33	0.16	5	0.02	147	0.72	1	0.02	56	1.37	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	15	0.25	-	-	60	1.00	-	-	19	2.11	-	-	-	-	2	0.15
富山県	-	-	68	2.34	1	0.03	4	0.14	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	33	1.14	-	-	10	0.34	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	12	0.55	-	-	39	1.77	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.04	7	0.28	1	0.04	8	0.32	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	56	1.08	-	-	17	0.33	-	-	16	1.60	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	3	0.06	1	0.02	44	0.83	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	54	0.63	3	0.03	106	1.23	-	-	18	0.86	-	-	-	-	2	0.22
愛知県	2	0.01	36	0.20	10	0.05	197	1.08	1	0.03	36	1.03	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	38	0.84	1	0.02	48	1.07	-	-	1	0.08	-	-	-	-	2	0.22
滋賀県	1	0.03	3	0.10	2	0.07	15	0.50	-	-	18	2.57	-	-	-	-	1	0.17
京都府	2	0.03	20	0.27	2	0.03	41	0.55	-	-	19	1.06	-	-	1	0.17	-	-
大阪府	2	0.01	92	0.48	26	0.14	121	0.63	2	0.04	46	0.88	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	20	0.15	8	0.06	92	0.69	8	0.23	57	1.63	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	4	0.11	17	0.49	30	0.86	-	-	29	3.22	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	24	0.77	1	0.03	13	0.42	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	3	0.16	-	-	22	1.16	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1.80
島根県	-	-	13	0.57	3	0.13	12	0.52	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.06	17	0.31	2	0.04	17	0.31	-	-	19	1.58	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	25	0.33	3	0.04	50	0.67	-	-	34	1.70	1	0.05	-	-	2	0.10
山口県	1	0.02	52	1.06	1	0.02	93	1.90	-	-	22	2.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	7	0.30	-	-	3	0.13	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	19	0.59	-	-	19	0.59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	80	2.05	3	0.08	13	0.33	-	-	19	2.71	-	-	-	-	-	-
高知県	2	0.06	36	1.16	24	0.77	24	0.77	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	23	0.29	9	0.11	61	0.77	-	-	38	2.11	-	-	1	0.07	1	0.07
佐賀県	-	-	7	0.30	2	0.09	21	0.91	-	-	8	2.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	27	0.61	1	0.02	23	0.52	1	0.13	48	6.00	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	39	0.80	1	0.02	141	2.88	-	-	24	2.67	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	47	1.31	8	0.22	23	0.64	-	-	4	0.80	-	-	-	-	2	0.20
宮崎県	-	-	89	2.41	1	0.03	21	0.57	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.03	9	0.15	6	0.10	19	0.32	-	-	1	0.20	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	1	0.03	4	0.12	1	0.03	8	0.24	-	-	27	2.70	-	-	-	-	2	0.29

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年40週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	49	0.11	-	-	3	0.01
北海道	9	0.39	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.10	-	-	-	-
宮城県	10	0.83	-	-	-	-
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.08	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	1	0.25	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	1	0.17	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.13	-	-	-	-
兵庫県	3	0.21	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	1	0.20
広島県	-	-	-	-	-	-
山口県	2	0.25	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.14	-	-	1	0.14
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第40号 平成12年10月20日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
<厚生省>
<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>
<成田空港検疫所>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。